

平成30年度 建設界の担い手確保・ 育成に関する取り組み

②平成30年度の活動事例紹介

【新潟県部会】 P 1～34

【富山県部会】 P35～72

【石川県部会】 P73～95

平成31年 1月29日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

平成30年度 建設界の担い手確保・
育成に関する取り組み

②平成30年度の活動事例紹介
【新潟県部会】

平成31年 1月29日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

【担い手確保】新潟地区の小学生による親子工事見学会

(一社)日本建設業連合会北陸支部

- ・北陸地方において建設界が担う役割や目的、その魅力について理解を深めるため、7月28日（土）に新潟地区の小学生高学年を対象に、親子工事見学会を開催。
- ・普段見られない建設現場、建設機械などを見学し、公共インフラの役割と建設技術の水準の高さなどを知ってもらう。

開催概要

平成30年7月28日（土）9：00～17：00

〈見学場所〉

国道7号 朝日温海道路1号トンネル工事

加治川用水農業水利事業 松岡ため池建設工事

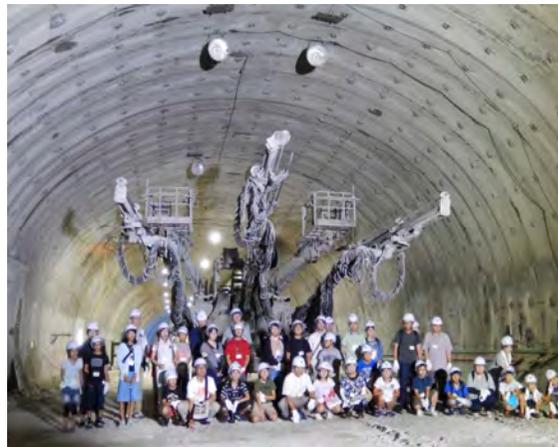
〈参加者〉 17組38名（小学生19名、保護者19名）

見学会の感想

- ・普段、見るできない場所を見ることができ、とても良かった。
- ・工事用の大きな機械を間近で見たり、乗ったりすることができ、とても良い体験になった。
- ・最先端の技術を間近で感じる事ができ、良かった。
- ・しっかりと熱中症対策をされていて感心した。

今後に向けて

- ・アンケートにて、「今後もこのような見学会があった方がよい」との回答が大多数だったので、今回のトンネル、ため池のほか、ダムや橋などの現場見学会を計画し、担い手確保に努めていきたい。



朝日温海1号トンネル



松岡ため池

【担い手確保】長岡地区の小学生による親子工事見学会

(一社)日本建設業連合会北陸支部

- ・北陸地方において建設界が担う役割や目的、その魅力について理解を深めるため長岡地区の小学生高学年を対象に見学会を開催。
- ・普段見られない建設現場、除雪ステーションなどを見学し、公共インフラの役割と建設技術の水準の高さなどを知ってもらう。

開催概要

平成30年7月26日（木）8：20～16：00

〈見学場所〉

- ・国道289号（八十里越）橋梁工事
（5号橋梁下部その2工事、2号橋梁上部工事）
- ・長岡除雪ステーション（長岡維持出張所）

〈参加者〉5組10名（小学生5名、保護者5名）

見学会の感想

- ・知らない世界が見られた。完成したら通ってみたい。
- ・色々な方に支えられて今日の生活ができているということに改めて感じる事ができた。
- ・土木工事はダイナミックで格好良い。
- ・夏季は思い描くことはなかったが、除雪ステーションでは降雪期に備えていることを知ることができた。

今後に向けて

- ・アンケートより「将来、建設業を選びたい（児童）」、「選んでもらいたい（保護者）」の声が年々増加してきたことを感じている。今後も、よりユニークなアイデアを盛り込みながら建設業の魅力を伝えることができる見学会の開催に努めていきたい。



国道289号（八十里越）橋梁工事



長岡除雪ステーション（長岡維持出張所）

小学生の現場見学会

小学校では、様々な体験を通して勤労観・職業観を育むとともに、身近な仕事への関心と地域社会との繋がり等を考えさせる取組みの「キャリア教育」を推進しており、ものづくり産業を支える「人づくり」に取組む当会として、これに協力し、小学生等が、社会資本整備の重要性とその使命、価値に対する理解を深めることを目的に平成20年度から実施。

また、施設見学とともに、建設業が安心して暮らしていくために重要な役割を担っていることや建設業の魅力などを紹介する座学も設け、「建設界」について考える貴重な機会として、積極的に取り組んでおります。

終了後の感想文では、大河津分水が出来るまでの歴史や水量をコントロールしている仕組みなどが分かったなどの回答を得ることができました。

◇ H30開催概要 ◇

【主催】

・一般社団法人新潟県建設業協会

【共催】

・一般社団法人北陸地域づくり協会

【後援】

・国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

・新潟県

・新潟市教育委員会

【見学場所】

・大河津分水可動堰

・信濃川大河津資料館

・魚道の観察室

・大河津出張所操作室

【実施校】

・ 6月26日(火)	魚沼市立伊米ヶ崎小学校	3. 4年生	23名
・ 10月11日(木)	新潟市立赤塚小学校	4年生	47名
・ 10月17日(水)	新潟市立臼井小学校	4年生	25名
・ 10月24日(水)	新潟市立小合東小学校	4年生	9名
・ 10月31日(水)	新潟市立白根小学校	4年生	71名
・ 11月 1日(木)	新潟市立両川小学校	4年生	23名
・ 11月 2日(金)	新潟市立潟東小学校	4年生	43名
・ 11月 8日(木)	新潟市立月潟小学校	4年生	36名
・ 11月 9日(金)	新潟市立青山小学校	4年生	62名
・ 11月13日(火)	新潟市立鏡淵小学校	4年生	37名
・ 11月21日(水)	新潟市立濁川小学校	4年生	63名

◇ 見学会の様子 ◇



(信濃川大河津資料館)



(大河津分水可動堰)



(大河津出張所操作室)



(魚道の観察室①)



(魚道の観察室②)



(建設業のDVD鑑賞)

◇ 生徒からの感想 ◇

- ・大河津分水がなかったら信濃川などがあふれて、洪水などがいっぱいあって大変だということが分かりました。
- ・大河津分水がなかったらと思うとこわくなります。そんな大事な大河津分水のつくられた理由、見学ができて1日とても楽しかったです。
- ・心に残ったのは「チームワーク」です。職人さんたちが集まり、一つのものをつくりあげるといふことにおどろきました。
- ・建設業の仕事は、暮らしの色々な場面で役に立っていることが分かりました。



中学生等「出前講座」土木PR

中学校が体験している様々な体験を通して、建設産業の社会的役割等について、理解を深めてもらうため、ものづくり産業を支える「人づくり」に取り組む当会としてこれに協力し、中学生等が社会資本整備の重要性とその使命、価値に対する理解を深めることを目的に実施。建設業(土木)をPRすることで、建設業が安心して暮らしていくために重要な役割を担っていることや建設業の魅力などを紹介する座学も設け、「建設界」について考える貴重な機会として、積極的に取り組んでおります。

出席者4団体

- ・新潟県
- ・(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部
- ・(一社)新潟県測量設計業協会
- ・(一社)新潟県建設業協会



◇ PRの様子 ◇



女性部会土木PR



測量体験

◇ 感想 ◇

- ・将来、建設業に進みたかったのでこの授業があっ
てうれしかった。
- ・自分の考えたものが形になるのはいい。
- ・土木、建設が私たちの暮らしを支えていることに
気付いた。詳しく調べたい。
- ・土木は女性も活躍できるということがわかった。
- ・誇りの持てる仕事だということがわかった。

実施日・実施校

日 時:平成30年5月18日(金) 学校名:津南町立津南中学校 2年生	日 時:平成30年5月23日(水) 学校名:長岡市立東中学校 2年生	日 時:平成30年5月25日(金) 学校名:柏崎市立東中学校 2年生
日 時:平成30年5月30日(水) 学校名:柏崎市立高柳中学校 1・2年生	日 時:平成30年5月31日(木) 学校名:長岡市立刈谷田中学校 2年生	日 時:平成30年6月14日(木) 学校名:小千谷市立東小千谷学校 2年生
日 時:平成30年6月14日(木) 学校名:十日町市立下条中学校 2年生	日 時:平成30年6月25日(月) 学校名:上越市立八千浦中学校 2年生	日 時:平成30年7月11日(水) 学校名:長岡市立川口中学校 2年生
日 時:平成30年7月11日(水) 学校名:魚沼市立湯之谷中学校 3年生	日 時:平成30年7月12日(木) 学校名:新潟市立木崎中学校 全学年	日 時:平成30年7月19日(木) 学校名:魚沼市立広神中学校 1年生
日 時:平成30年9月11日(火) 学校名:県立正徳館高等学校 1・2年生	日 時:平成30年9月19日(水) 学校名:小千谷市立千田中学校 1・2年生	日 時:平成30年9月21日(金) 学校名:新発田市立川東中学校 3年生
日 時:平成30年10月11日(木) 学校名:粟島浦村立粟島浦中学校 全学年	日 時:平成30年11月6日(火) 学校名:南魚沼市立八海中学校 1年生	日 時:平成30年11月9日(金) 学校名:魚沼市立小出中学校 2年生
日 時:平成30年11月13日(火) 学校名:五泉市立川東中学校 2年生	日 時:平成30年11月19日(月) 学校名:関川村立関川中学校 2年生	日 時:平成30年11月30日(金) 学校名:十日町市立川西中学校 2年生



高校生の現場見学会

県内の建設系高等学校の生徒に、建設工事現場の見学を通して、建設業の社会的役割と魅力等を理解してもらい、建設業への入職促進に資することを目的に平成3年度から実施。

終了後のアンケートでは、土木への感心が深まったので、これからの進路・将来に活かしていきたいなどという回答を得ることができました。

◇H30開催概要◇

実施日	実施校・見学現場
8.23(木)	塩沢商工高等学校 機械システム科 2・3年生 15名 ・八十里越建設現場 
8.24(金)	新潟工業高等学校 建築科 2年生 78名 ・大谷ダム  ・県立加茂病院改築現場
9.7(金)	新潟県中央工業高等学校 建設工学科 建築コース 2年生 20名 ・大谷ダム 田上町交流会館建設工事  都市防災コース 2年生20名 ・大谷ダム 八十里越建設現場
9.7(金)	上越総合技術高等学校 環境土木科 2年生 29名 ・上沼道 本道跨道橋軽量盛土工事現場  ・上沼道 門田新田地区舗装工事現場 ・三和安塚道路 開削トンネル工事現場

◇アンケート紹介◇

Q1.現在在学する高校を選んだ理由は…

- a.建設会社に就職するため 19.8% b.周囲にすすめられた 15.4%
c.土木・建築に興味があったから 38.3% d.特に理由はない 20.4%
e.その他 6.2%

Q2.もし、建設業に就職しようとする場合、何が一番関心がありますか。

- a.給料体系 18.2% b.休日・労働時間 19.4%
c.就職後の仕事の内容 38.2% d.仕事に必要な資格 15.3%
e.会社の経営方針 6.0% f.福利厚生 2.9%
g.その他 0%

Q3.今回の現場見学会は参考になりましたか。

- a.大変参考になった。 71.3%
b.少し参考になった。 27.5%
c.参考にならなかった。 1.2%

感想

- 現場に行ってみて今まで思っていた大変そうなイメージがガラッと変わり、快適な仕事になっていると実際見て感じた。
- 女性が働きやすい環境であると分かってとても参考になったし、仕事の魅力を感じた。
- 自分が迷っている進路を後押ししてくれるような大変参考になる内容でした。



インターンシップ・デュアルシステム

インターンシップは、学校と産業界が連携し、産業の現場等で生徒が在学中に自分の学習内容や進路などに関連した就業体験を行うもので、将来の生き方や進路を考えるうえで有意義であることから、当協会としても若年人材の確保対策の一環として平成11年度から実施に取り組んでおります。

デュアルシステムは、建設系工業高校と地域や産業界が連携し、企業での現場実習を行うもので、工業教育の改善・充実と地域や産業界の人材育成・確保を目指すもので、10日間の現場実習で実践的な職業知識や技能・技術の習得と勤労観・職業観を身に付けるために平成18年度から実施に取り組んでおります。

◇ H30年度実施概要 ◇

・インターンシップ 生徒数152名 協力企業数55社
・期間 平成30年7月4日～10月12日の間のそれぞれ2・3日間

協力支部	参加校	生徒数	受入協力企業者数
新 発 田 支 部	県立新発田南高等学校	37名	9社
新 津 支 部	県立新津工業高等学校	3名	1社
津 川 支 部	県立阿賀黎明高等学校	2名	1社
新 潟 支 部	県立新潟工業高等学校	10名	7社
三 条 支 部	県立新潟県央工業高等学校 県立加茂農林高等学校	36名 2名	8社 1社
十 日 町 支 部	県立松代高等学校 県立十日町総合高等学校	6名 2名	3社 1社
六 日 町 支 部	県立塩沢商工高等学校	12名	10社
上 越 支 部	県立上越総合技術高等学校 県立高田農業高等学校	19名 8名	9社 4社
糸 魚 川 支 部	県立白嶺高等学校	10名	2社
佐 渡 支 部	県立羽茂高等学校	5名	1社

・デュアルシステム 生徒数6名 協力企業数5社
・期間 平成30年7月26日～8月10日の間のそれぞれ10日間

協力支部	参加校	生徒数	受入協力企業者数
三 条 支 部	県立新潟県央工業高等学校	2名	1社
六 日 町 支 部	県立塩沢商工高等学校	2名	2社
安 塚 支 部	県立上越総合技術高等学校	1名	1社
上 越 支 部	県立上越総合技術高等学校	1名	1社

◇ 生徒感想文 ◇

【反省】

- ・もっと質問したり職場の人と話せばよかった。
- ・会話をしている時の受け答えが上手くできなかった。
- ・話をしている時にもっとメモをとるべきだった。



【感想】

- ・鉄鋼矢板施工を見させて頂き、迫力がありとても貴重な体験ができました。生の施工現場を間近で見ることができていい経験ができました。
- ・現場の雰囲気が明るく不安がなくなった。
- ・他社とのコミュニケーション能力があり、連携して仕事をしていてスゴイと思った。

【今後の抱負】

- ・今回改めて「土木」とは何か深く考えさせられるとてもいい機会になりました。
- ・自分の将来につながることを学べて本当にありがたかった。作業内容や現場の雰囲気を見て自分の将来への選択肢が一つ増えた。
- ・お客様の事を考え、お客様の夢を形にするととても素敵な事だと思いました。学校に持ち帰り今後に活かしていけるよう努力したい。

YouTubeを活用したPR広告配信

県民に身近である「除雪」などをテーマにしたテレビCMを放映してきたが、昨今の担い手不足や「女性の活用」、「新3K」(給与、休暇、希望)など新たな課題も顕在化してきたため、若者・女性が建設業に抱くイメージの向上を図り、入職につながることを目的に、スマートフォン等からの動画接触率が高いYouTubeを媒体にしたアニメCM制作を制作し、それぞれ広告配信しました。

パソコンやタブレット、スマートフォンを通じ、若者の生活に密着しているインターネットと、世界的に関心の高いアニメを組み合わせることで、予想以上の反響があり、業界紙や地元新聞にも取り上げられるなど、広く県民に周知できました。

「トンネルつくり」編



<http://www.shinkenkyo.or.jp/>

【概要】

■配信動画

- ①「トンネルつくり」編
- ②「自分キラキラ！建設女子」編

■対象：高校生、大学生、若年層
(13～24歳)

■エリア：新潟県全域
近隣県の土木学科がある大学周辺

■再生回数

- ①約26万回
- ②約45万回

■その他

配信動画と連携して、建設業について理解を深めてもらえる内容のランディングページも作成して、広報に努めている。

「自分キラキラ！建設女子」編



【建コン協北陸支部の活動】

「おやこで見学会」を8月25日に開催しました！

<概要> 日 時：平成30年8月25日(土) 9：15～12：00

場 所：信濃川、万代クロッシング、万代テラス

参加者：10組24名（子ども14名、保護者10名）

共 催：北陸地方整備局信濃川下流河川事務所、北陸地方整備局新潟国道事務所、新潟市

後 援：新潟県、新潟商工会議所、新潟日报社、ミズベリングやすらぎ堤研究会

この取り組みでは、新潟を代表する重要な社会インフラである信濃川と萬代橋の歴史や役割等を通じて子どもたちに関心を持ってもらいました。

具体的には、船に乗ってすれ違う船に手を振ったり、信濃川沿いで開催しているミズベリングの様子などに熱心にカメラを向けたりしていました。また、船で橋の下を通過した際には、子供から「橋にはコンクリート橋や鉄でできた2種類があるけど、何で？」など、スタッフが回答に困るような専門的な質問もありました。

船から降りてからは、模型を用いた液状化の実験や国交省新潟国道事務所から準備していただいた起震車に乗ってもらうなど、楽しみながら理解を促す取り組みを行いました。

様々な体験メニューを用意して取り組んだ結果、子どもたちだけでなく保護者も含めて好奇心を抱いてもらえたとともに、建設コンサルタントについても理解してもらえた良い機会になったと思われます。

以上



県立新潟工業高校へ、出前講座に行ってきました!

学校の授業「道路設計演習」の理解向上を目的に、出前講座を行いました。

午前中は、道路事業・設計の流れや設計の目的、道路設計に関する基礎知識のほか、3次元設計など最近の動向を説明し、午後は国道7号栗ノ木道路、紫竹山道路の現場見学、新潟国道寺務所において道路情報管理室の見学を行いました。

生徒からは、難しかった意見もあるものの、奥深さや魅力を感じた、普段見れない場所を見学出来よかった等好評でした。

ご協力頂きました国土交通省新潟国道事務所の皆様大変ありがとうございました。

○開催日時：平成30年11月 9日 9:00～15:33

○対象：新潟県立新潟工業高校 土木科2年生(38名)

○座学

①道路設計概論①

道路設計の目的・手順等

②道路設計概論②

平面線形、縦断設計、横断計画

建設コンサルタンツ協会北陸支部PR動画

③最近の動向

3次元設計

○現場見学

新潟国道寺務所(事業概要、道路情報管理室)

国道7号栗ノ木道路、紫竹山道路

(共同横断管工事、栗ノ木川付替)

※概要は、「雪の音(平成31年2月15日)」にて報告予定



座学の様子(新潟工業高校にて)



事業概要(新潟国道事務所)



道路情報管理室の見学(新潟国道事務所)



栗ノ木道路・紫竹山道路の完成模型見学
(栗ノ木道路相談室)



共同横断管の見学(栗ノ木道路工事現場)



栗ノ木川付替工事の見学(紫竹山道路工事現場)

【建コン協北陸支部の技術部会活動】

長岡技術科学大学における業界説明会が開催されました！

日 時：平成30年11月28日（水）13:00～16:00

開催場所：長岡技術科学大学の環境棟1階大学院講義室

説明者：（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部

技術部会

道路委員会 委員長 神田 和久

都市計画委員会 委員長 小見 直樹

対 象：環境社会基盤工学専攻の学部3年、大学院1年生（約40名が参加）



学生の就職活動のための業界説明会が開催され、建設コンサルタンツ協会北陸支部として参加いたしました。

当日は、当協会の他に、国土交通省、新潟県、長岡市、NEXCO 東日本、建設業協会、新潟県地質調査協会等が参加。

参加者された学生は、来年度の就職活動に向けて真剣な眼差しで聴講されていました。

《説明の内容》

1. 建設コンサルタントとは
2. 業務の事例
3. 新たな業務領域
4. キャリアプラン・生活像
5. 求められる人物像



測量特番「ふるさとを守り、未来を創る ～測量設計の使命・魅力・進化～」をテレビ放送！！



この美しいふるさと新潟を守るという信念を持って災害復旧業務に貢献する測量設計の「使命」。新潟の未来を創造する社会資本整備の一翼を担う測量設計の「魅力」。「進化」し続ける測量技術と新技術の習得に励む若手技術者などを紹介したテレビ特別番組です。

放送日 平成30年12月29日(土) 午後3時35分～ 10分間

放送テレビ局 N S T 新潟総合テレビ

動画活用 協会ホームページへの掲載、DVDの無償レンタル

《インタビュー出演者》 ナレーター：NSTアナウンサー 松尾 和泉 さん

災害復旧応援協定の意義を語る新潟県土木部技監



測量設計の使命・魅力を語る中堅技術者



新技術研修受講体験、入職体験を語る若手技術者



NSG夏フェス 2018「お仕事体験 & 大学園祭」 ブース出展

多くの専門学生、中・高校生など若者が集う一大イベントにPRブースを出展し、測量機器による測量体験、大型モニターによるPR動画放映、ドローン・レーザスキャナの展示などにより測量設計の魅力を広くアピールしました。

- 開催日 平成30年7月14日(土)・15日(日)
- 会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
- 来場者 中・高校生、専門学生、一般来場者 2日間延べ 約 40,000 人
- 出展物 測量機器による測量体験
大型モニターによるPR動画放映
大型パネル、ドローン・レーザスキャナの展示
パンフレット、PRグッズの配布



第29回全国産業教育フェア新潟大会プレ大会にて 担い手確保・育成関係のブースを展示

平成30年8月7日（火）に新潟市体育館で開催された「全国産業教育フェア新潟大会プレ大会」（新潟県教育委員会主催）※ において、担い手確保・育成を目的として、「北陸建設界の担い手確保・育成協議会新潟県部会」及び「建設産業専門団体北陸地区連合会（新潟県鉄筋業協同組合）」からブースを出展した。

来場者は高・中学生を中心に800人を越え、各ブースにも多数の男女学生や保護者の方々が訪れ、鉄筋の結束作業体験や測量体験等に楽しく、時に真剣に取り組んだ。

〔※平成31年度に開催される「全国産業教育フェア新潟大会」の事前・試験大会で、専門高校等で学ぶ生徒が学習の成果を発表し、教育内容を広く発信するとともに、各種産業に触れる機会を創出するのが目的〕



「北陸建設界の担い手・育成協議会」の測量体験の様子



「新潟県鉄筋業共同組合」の鉄筋結束作業体験の様子



大会全体の様子

新潟県立塩沢商工高等学校地質調査実習

一般社団法人新潟県地質調査業協会

- 1 日 時 平成30年 6月18日(月) 4限 (12:45 ~13:35)
5限 (13:45 ~14:35)
6限 (14:45 ~15:30)

- 2 場 所 新潟県立塩沢商工高等学校 電話 025-782-1111
南魚沼市泉盛寺701番地1 (試験は県道石打停車場塩沢線脇、校舎裏)

3 地質調査実習概要

- (1) 実 習 生 土木系科目履修の3年生 15名

- (2) 実習内容 簡易な以下のサウンディング試験を体験

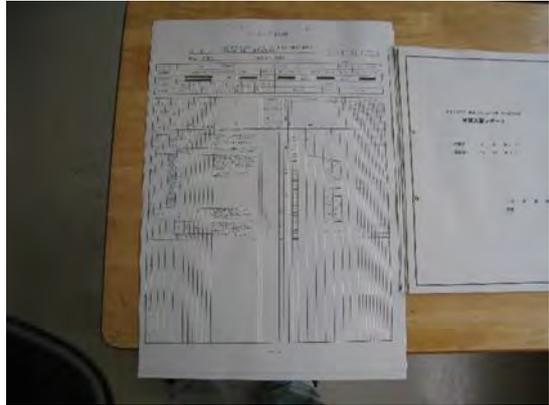
- ① 簡易動的コーン貫入試験
- ② スウェーデン式サウンディング試験
- ③ ポータブルコーン貫入試験(単管式)

(3)授業の進め方

全体説明の後、機械の説明、安全講習を行った後、実習生を4班に分かれてローテーションにて上記3試験を体験(全員が3試験を体験)
上記3試験体験後、教室においてデータ整理、試験データの利用方法について説明する。

- (4) 指 導 者 新潟県立塩沢商工高等学校 酒井教諭
(一社)新潟県地質調査業協会 広報委員会
小幡広報委員長、鈴木広報副委員長、村尾担当理事、加藤担当理事
三膳委員、小林委員、平井委員、飯田委員





平成30年度出前授業の実施について

(一社)新潟県地質調査業協会
広報委員会

1 日 時

平成30年11月16日(金) 8時40分～12時05分(1限～4限)

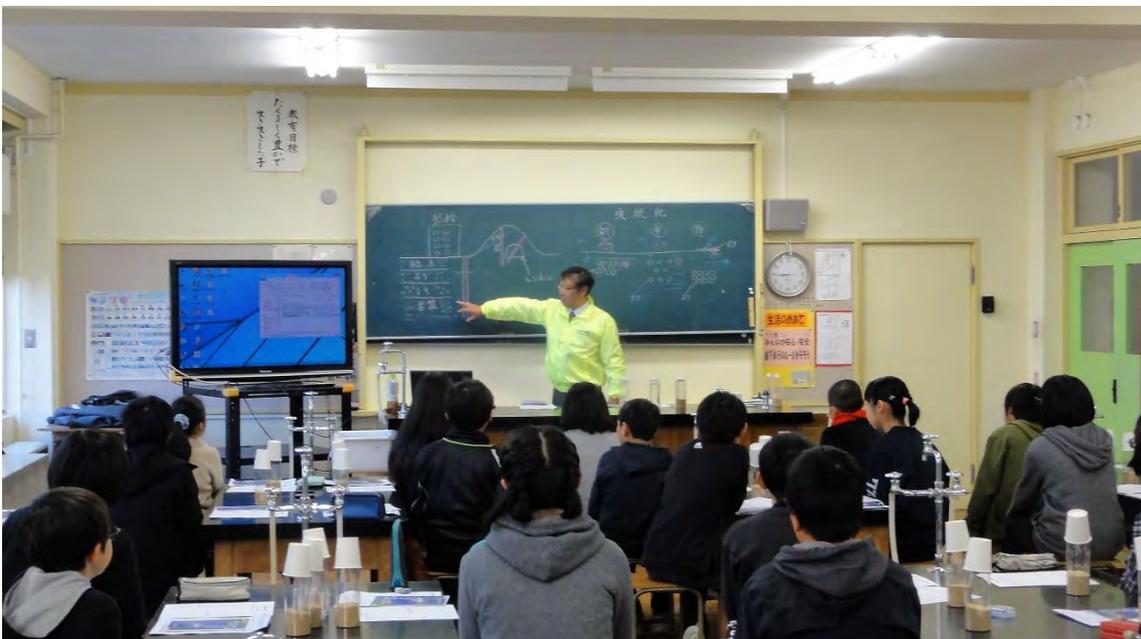
2 学校、学年、クラス

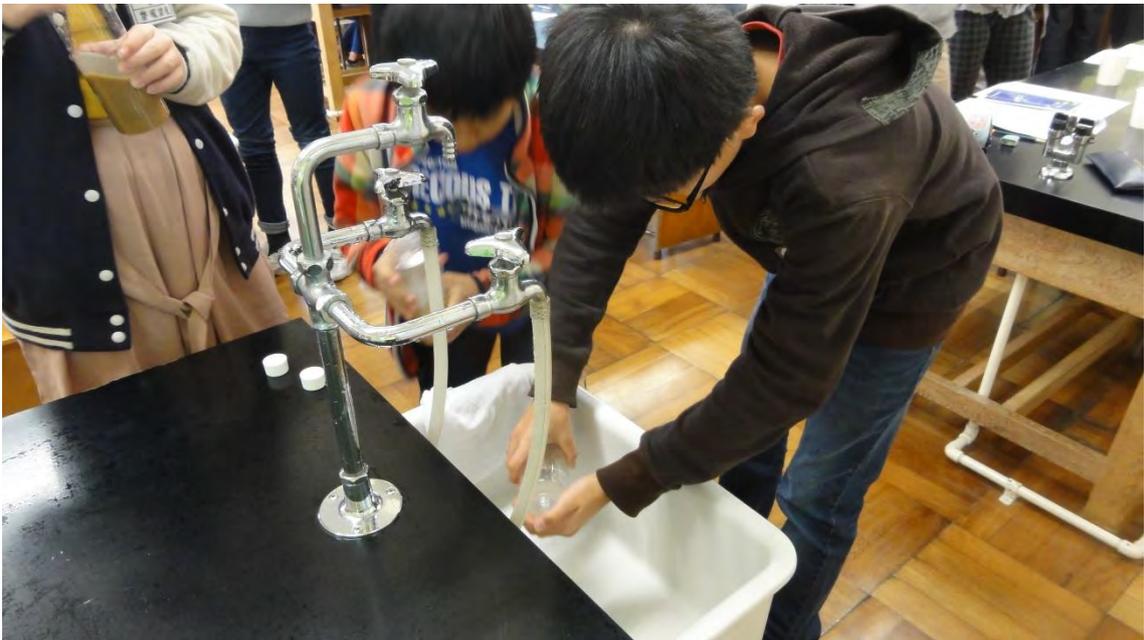
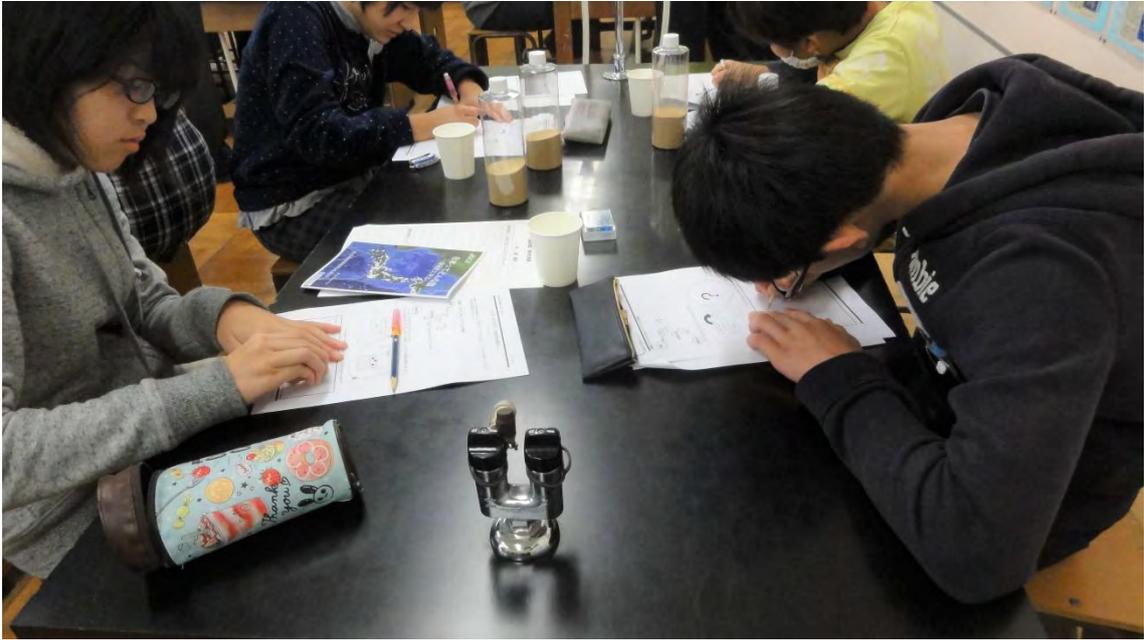
新潟市立五十嵐小学校 6年生 4クラス 児童数 117人

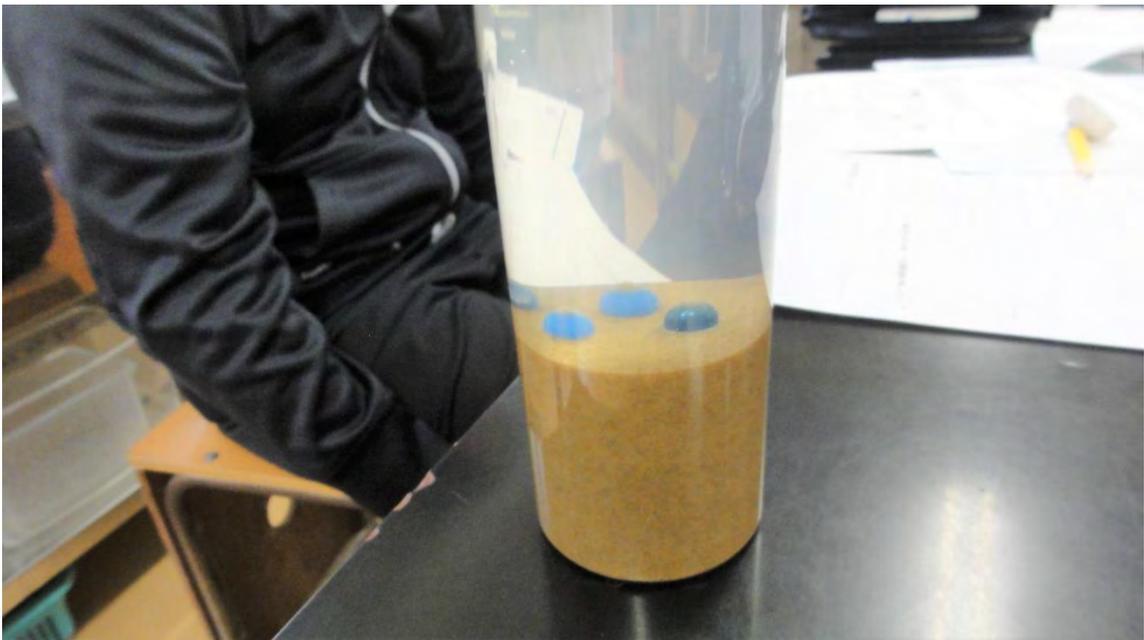
3 授業内容

- ・ 協会、地質調査の概要
- ・ 液状化現象の説明
- ・ 「エッキー」による液状化実験
- ・ 仕事、職業感に関する質問への回答

4 授業風景







下水道教室(新津浄化センター見学)

- ・ 下水道事業啓発のため、6月から9月の間に、新潟市秋葉区内の小学校4年生を対象に開催。
(新潟市秋葉区内の希望する小学校を対象)

開催概要

平成30年6月～9月

- ・ [会場] 新津浄化センター
- ・ [出席者]

[小学校] 新潟市立新津第三小学校ほか9校 児童数 計515名

[行政] 新潟市東部地域下水道事務所秋葉下水道分室、新潟県下水道公社(新津浄化センター)

下水道教室の概要

2

- ・ 新津浄化センター施設内の見学
- ・ 水質検査などの実験
- ・ 処理水内の微生物の観察(顕微鏡) 等

参加者からの感想

- ・ 水をきれいにするのにすごく手間がかかっていると思った。
- ・ 浄化センターは汚い水をきれいな水に変えて川に流すところだとわかった。
- ・ たくさんの数の微生物が水をきれいにしていると知って驚いた。
- ・ 下水道の役目がよくわかりました。
- ・ 水は流せるのは当たり前だと思っていたけど、正しく使わないとだめだと感じました。



下水道教室の様子

下水道教室(新井郷川浄化センター見学)

- ・「下水道の効果と役割」や「下水道の正しい使い方」等の下水道の知識を深めてもらうとともに、出前講座を通して下水道のPR活動のために新潟市北区内の小学校4年生を対象に開催。
(新潟市北区内の希望する小学校を対象)

開催概要

平成30年9月

・〔会場〕 新井郷川浄化センター

・〔出席者〕

〔小学校〕 新潟市立木崎小学校 児童数 計55名

〔行政〕 新潟市東部地域下水道事務所北下水道分室、新潟県下水道公社(新井郷川浄化センター)

下水道教室の概要

- 2
- ・ビデオ学習
 - ・処理水内の微生物の観察(顕微鏡)
 - ・味噌汁、センターの処理水、川の水の汚れ濃度観察
 - ・トイレットペーパーとティッシュペーパーの溶け方の違い
 - ・新井郷川浄化センター施設内の見学

参加者からの感想

- ・目で見てにおいのかいで体験できてよかった。
- ・地下道(管理道路)を見学できてよかった
- ・下水道は大切なんだと思った。
- ・とても勉強になった。



下水道教室の様子

- ・新潟市立坂井輪小学校の総合学習「大すき さかいわ」の授業にて、新潟市西区坂井輪地域の大水への対策に対する出前講座。
(坂井輪小学校3年生を対象)

開催概要

平成30年6月5日

・〔会場〕新潟市立坂井輪小学校

・〔出席者〕

〔小学校〕新潟市立坂井輪小学校 児童数 計110名

〔行政〕新潟市西部地域下水道事務所

出前講座の概要

- ・ビデオ学習
- ・雨水管ができるまで
- ・ハザードマップの説明
- ・地下トンネルができるまで

参加者からの感想

- ・公園の地下にトンネルが掘られていることに驚きました。
- ・たくさんの大切なことを教えてもらってありがとうございました。
- ・溜まった水が川に行くことを初めて知りました。
- ・もっといろいろなことを知りたくなりました。
- ・マンホールがそんなに深いとは思いませんでした。
- ・初めて知ったことがたくさんありました。



出前講座の様子

鉄筋の結束作業と左官の壁塗いを体験！！

～新潟県立荒川高等学校2年生へ建設産業の魅力を伝えました～

建設業って？どんな仕事なの？

マンションや学校などの建築物、道路や橋の土木構造物をつくる仕事です。どれも人々の暮らしに欠かせないものであり、便利な暮らしを支えています。そんな工事現場の最前線で働く“建設業”の職人さんとともに、7月4日(水)に「新潟県立荒川高等学校2年生」の総合学習の時間をお借りして、建設産業の魅力を伝える「出前講座」を開催しました。

- 建設産業専門団体連合会（建専連：けんせんれん）
- 新潟県左官業協同組合
- 新潟県鉄筋業協同組合青年部

④カッコイイ職人さんの実演、手ほどきによる〈生徒さん自らの体験〉を中心とした「鉄筋工事業」での鉄筋の結束作業と“左官工事業”での壁塗り作業を行いました。

- ◇ 鉄筋の結束を体験した生徒さん（男子）からは「鉄筋の結束作業は難しく、思ったよりきつかった。建設業の仕事に興味が出てきた」との感想を。
- ◇ 左官の塗り壁体験をした生徒さん（女子）は「塗り壁作業は初めてで楽しかった」との感想。友達の塗る作業を見て「わー！キレイ！」などなど。



アドバイスを受けながら鉄筋結束作業に挑戦



職人さんのお手本を見ながら壁塗りに夢中

生徒さんたちは皆さんやりがいを感じていたようで、活気に満ちた時間を過ごせました。また、器用な生徒さんが多く、実際に手ほどきしてくれた職人さんたちも感心していました。

建設業の仕事に少しでも興味を持ってもらい、近い将来、職人さんの仲間になってもらえればうれしいですね。

荒川高校さんからも「来年も是非」とのお言葉も頂きました。

「我が校でも是非っ」という御連絡、お待ちしております。

☆ お問い合わせは↓こちらから ☆

<http://www.hrr.mlit.go.jp/kensei/sangyo/kensetsu/ninaite/ninaitekakuho/01%20top/01-01%20ninaitetop.html>

白新中学生「新潟の交通(道路)」を学びました



国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所

平成30年5月25日(金)、白新中学校2年生の5人が総合的な学習において『新潟の魅力を発見しよう』を視点に「新潟の交通(道路)」について、新潟市の現状を知り、新潟の魅力や誇れるところは何かを学習しました。



カリキュラムは、総合学習用テキストを用いて国土交通省の仕事、道路の役割・種類、新潟国道事務所の仕事と順を追いながら新潟の道路について学び、その後ITSコクピットへ移動し「道路の管理」についても学びました。

最後にインタビュー形式で、生徒たちからのいろいろな質問に答えました。

新潟国道事務所では、総合学習や現場見学を支援しています。
ぜひお気軽におたずねください。



万代長嶺小学校4年生児童は総合学習の一環として、毎年『萬代橋みがき』と題した清掃活動を地域の方々と行っています。

清掃活動前の平成30年7月4日(水)に萬代橋の歴史や役割について学び、萬代橋に関する理解を深め、より一層愛着を持つことができました。

先生、質問
いいですか♪



みんな興味津々！



7月11日「萬代橋みがき」がんばるぞ！！

萬代橋、みがきます！



国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所

万代長嶺小学校では、国の重要文化財に指定されている新潟市のシンボル「萬代橋」の学習に取り組んでいます。

7月11日(水)気温の高い曇り空の下、万代長嶺小学校4年生は7月4日(水)出前講座で学んだことを胸に、地域の方々と新潟国道事務所の職員と共に萬代橋や国道7号の清掃活動を行いました。

なお、今回の清掃活動「萬代橋みがき」は、毎年行われ、今年で**10回目**となりました。

参加者：万代長嶺小学校 4年生50名 教師4名、萬代橋を愛する会(地域の方々) 9名、
新潟国道事務所職員 22名



みんなで清掃がんばりました！

新潟市立宮浦中学校2年生「職場体験学習」



国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所

宮浦中学2年生4名が「職場体験学習」としてにいこくに訪れ、2日間のカリキュラムを熱心に学びました。最後に慣れないパソコンを使い、学習のまとめを作成しました。

9月20日(木)

1. 萬代橋のあゆみ
2. ITSコクピット見学
3. 事前質問・意見交換
4. 事業概要説明

9月21日(金)

1. 現場見学
(道の駅豊栄、万代クロッシング、萬代橋、柳都大橋)
2. 学習のまとめ
(パワーポイント作成)



建設車両大集合！幼稚園児体験学習を開催



国土交通省 北陸地方整備局
新潟国道事務所

平成30年9月27日(木)に地元の日章幼稚園児を対象に体験学習を開催しました。

建設車両のデモンストレーションや搭乗体験では園児たち大興奮！これを機に工事及び建設業に興味関心を持って頂ければと思います。



建設車両のデモンストレーション



小型バックホウや
道路巡回パトロールカーの
搭乗体験は大盛況！！

除雪出動式(H30.11.2新潟西除雪ステーション)

11月2日(金)新潟西除雪ステーションにおいて、除雪出動式を開催。
出動式には、除雪作業受注者の関係者ほか、新潟市立木山小学校4年生15名の児童を含め、総勢約70名で除雪期間中の安全を誓いました。
木山小学校児童は出動式後の体験学習会で、除雪機械を稼働させてのデモンストレーション、パネルで除雪作業の流れを学んでもらうと共に、除雪機械の乗車体験や施設内見学も行いました。



▲総勢約70名で除雪期間中の安全を誓う



▲児童代表から除雪受注者へ激励メッセージ



▲除雪受注者代表から今冬の決意表明



▲デモンストレーションで除雪機械の機能を学習



▲除雪作業の流れをパネルで学習



▲運転席に座って、オペレータの目線を確認

- ・水防災学習支援の一環として、新潟市南区味方地区を対象に、水害に関する講義や、防災カードゲームを用いた水防災教育を全学年で実施しました。
- ・小学校5、6年生と中学生は、地区の危険箇所等をマップに整理し、地域の防災訓練時に発表を実施しました。

【概要】

◇実施主体：信濃川下流河川事務所
新潟県土木部河川管理課
新潟地域振興局地域整備部
新潟市南区

◇対象：味方小・中学校全学年

◇実施一覧：①日時：9月18、19日
内容：近年の豪雨災害紹介
味方地区の地形特徴

②日時：10月15、18日
内容：危険箇所調査

③日時：11月1、10日
内容：防災カードゲーム学習

④日時：11月10、22日
内容：避難マップの発表



9月18日 座学：味方小学校



10月15日 危険箇所調査：味方小・中学校



11月1日 防災カードゲーム学習：味方小学校



11月10日 避難マップの発表：味方小学校

【生徒達からの感想】

- ・災害はいつ起こるか分からないので、日頃から備えなくてはいけないと思った。
- ・年配の方を率先して避難誘導出来るようになりたい。

長岡工業高等専門学校への非常勤講師の派遣

【開催要旨】

- 長岡工業高等専門学校の「建設技術史」の講義に、北陸地方整備局、長岡国道事務所、信濃川河川事務所、湯沢砂防事務所から、非常勤講師を派遣。
- 来年のインターンシップ、再来年の進路決定にあたり、建設分野の仕事や土木行政についてよく知ってもらうことが目的。

【平成30年度の実施状況】

- ①平成30年5月28日（月）信濃川河川事務所 森田副所長
（テーマ）河川の管理
- ②平成30年6月11日（月）北陸地方整備局 企画部 帆苅環境調整官
（テーマ）社会資本整備
- ③平成30年6月18日（月）長岡国道事務所 ①焼田計画課長、②齋藤工務係長
（テーマ）①道路について、②私とケンセツ業（社会人15年目、現在に至るまで）
- ④平成30年6月25日（月）長岡国道事務所 星野事務所長
（テーマ）道路の歴史と役割
- ⑤平成30年7月 2日（月）長岡国道事務所 伊藤保全対策官
（テーマ）道路構造物老朽化対策
- ⑥平成30年7月 9日（月）湯沢砂防事務所 後藤調査課長
（テーマ）土砂災害から身を守る

【参加者】 長岡工業高等専門学校 環境都市工学科3年生 42名



河川に関する講義



社会資本整備に関する講義



道路に関する講義



砂防に関する講義

けんせつ小町のガールズトーク2018

湯沢砂防事務所

- 「けんせつ小町」のガールズトーク2018を10月31日に開催しました。建設業へのイメージを変え、建設業への女性進出が進むことを目的に平成28年から開催しています。今年で3回目を迎える今回は初めて現場に飛び出し、女性目線での現場パトロールを実施しました。その後の座談会では、現場の感想や日頃思っていることについて皆さんに語っていただきました。
- 主な意見として、「求人募集において、建設業は男性しか募集していないように感じるので、『男女問わず』と記載すると良いのでは」「昔と比べ、トイレが非常にきれいになっていて、職場環境は良くなっている。」というものがあつた。



参加者は、湯沢砂防事務所職員4名、建設会社社員3名、NEXCO関係会社1名の計8名です。進行にエフエム雪国のパーソナリティ田村さんを迎え、終始和やかな雰囲気で行われました。

この様子は、エフエム雪国（76.2MHz）で11月に合計4回放送しました。また、「FMゆきぐにの新聞」として、南魚沼市・湯沢町に20,000部配布しました。



みんなで集合写真！



パトロール

座談会

「けんせつ小町」増員に活路 人手不足の魚沼地域業界



魚沼地域の除雪オペレーターを務める須田世泰さん(南魚沼市)

有効求人倍率が県内一高いとされる魚沼地域。中でも人手が深刻な建設業界で、女性が高齢する姿が目立ち始めた。南魚沼市にある閑道道の除雪基地では、女性オペレーターが増えている。因又雪質対策防務事務所は、建設会社や女性技術者を集める機会を開き、職場環境改善を推す。業界で働く女性は「けんせつ小町」と称され、現場の救世主だ。魚沼地域の建設業界は、女性バワリの取り返しが活路を開く。

（2日町長・藤井 龍人）

大型免許取得へ補助 意見聞き環境改善さらに

見つめる
ちゅうえつ

南魚沼市除雪基地の閑道道。日々異なる状況に処てき、日々打って入るオペレーターの中には、ベテランの先輩から、若手オペレーターまでいる。同市の建設会社、元店、家を委託するのはタスクコマの高度化と業者不足、技術者の減少だ。昔から秋は大型免許取得の時期で、冬は除雪車を運転するオペレーターを増やして、本県と関東を結ぶ大動脈やまた同社は再度から、建設現場で活躍する女性を増やして、人手不足の課題を解決する。全国で、天候や降雪の降り方毎日違、補助する制度を始め、全国で、

須田さんは高校卒業後、交通の講習を受け、その後、その姿が店舗建設の幹部の目に留まり、業界に転職された。須田さんは、土木現場は男性が多く、女性が少ない。女性技術者の不足は建設業界で、務まるか不安もあった。だが女性でもできる仕事は多くある。冬は除雪車や、トラックを運転する仕事は、女性でもできる。女性技術者の不足は建設業界で、務まるか不安もあった。だが女性でもできる仕事は多くある。冬は除雪車や、トラックを運転する仕事は、女性でもできる。

女性目線で点検
魚沼市や長野県の一部を管轄する防務事務所は10月31日、「けんせつ小町のカーネルズ」を立ち上げた。これは、女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。



湯沢防務事務所の「けんせつ小町のカーネルズ」で現場を視察する女性技術者(＝南魚沼市)

男性にも快適さ
入浴して汗を流す。女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。

『けんせつ小町のガールズトーク2018』 湯沢防務事務所開催



10月31日、第3回目となる建設業界で働く女性たちが、建設業界について語る「けんせつ小町のガールズトーク2018」が開催されました。湯沢防務事務所の女性職員や建設業界で働く女性に参加し、日ごろ思っていることを話し合いました。FMゆきぐにの田村花絵が進行を務め、建設業界へ入ってのギャップやけんせつ小町の質問コーナーも催されたものの、取りたい資格の話がありました。



湯沢防務事務所 工務課 佐藤 蘭乃さん
建設業界で働く女性として、安全パトロールで、現場を回りながら、女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。



久川 美穂さん
建設業界で働く女性として、安全パトロールで、現場を回りながら、女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。



湯沢防務事務所 工務課 玉木 美来さん
建設業界で働く女性として、安全パトロールで、現場を回りながら、女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。



湯沢防務事務所 工務課 川原 三海帆さん
建設業界で働く女性として、安全パトロールで、現場を回りながら、女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。



湯沢防務事務所 工務課 池田 真依さん
建設業界で働く女性として、安全パトロールで、現場を回りながら、女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。



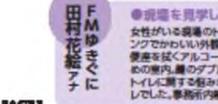
湯沢防務事務所 工務課 多田 蓮代さん
建設業界で働く女性として、安全パトロールで、現場を回りながら、女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。



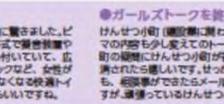
湯沢防務事務所 工務課 カネ子 輝哉さん
建設業界で働く女性として、安全パトロールで、現場を回りながら、女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。



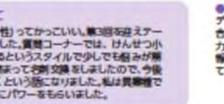
湯沢防務事務所 工務課 ネノコメンテナス 湯沢 えみりさん
建設業界で働く女性として、安全パトロールで、現場を回りながら、女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。



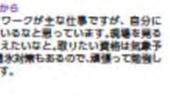
FMゆきぐに 田村花絵アナ
建設業界で働く女性として、安全パトロールで、現場を回りながら、女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。



建設業界で働く女性として、安全パトロールで、現場を回りながら、女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。



建設業界で働く女性として、安全パトロールで、現場を回りながら、女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。



建設業界で働く女性として、安全パトロールで、現場を回りながら、女性技術者の不足を解消し、現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。現場での作業を安全に行うための取り組みだ。

平成30年度 建設界の担い手確保・
育成に関する取り組み

②平成30年度の活動事例紹介
【富山県部会】

平成31年 1月29日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会



- 実施日時：平成30年2月19日（月） 13:25～14:25
- 場 所：桜井高校 2F 視聴覚室
- 対 象：富山県立桜井高等学校 土木科2年生
- 主 催：黒部河川事務所

【内 容】

○土木の仕事について公務員と民間の立場から紹介
(桜井高校OB)

- ・黒部河川事務所 調査課 調査第一係長 多東 慶太郎
- ・金沢河川国道事務所 工務第一課 技官 鹿本 剛生
- ・桜井建設(株)
園家離岸堤(No.107)ブロック制作その3 工事現場代理人 吉本 遼太郎

○土木技術者として求められるもの

- ・大高建設(株) 執行役員 土木部長 川添 将文

○意見交換会

座談会形式による意見交換会（公務員志望、民間志望）

桜井高校OBの4名の技術者が、公務員、民間の立場からそれぞれの体験談や後輩へのアドバイスをお話しました。

- ・今年度入省したばかりの鹿本技官からは、普段の業務の様子や高校時代と異なり「**自己管理**」や「**コミュニケーション**」の大切さ、後輩へのアドバイスとして**人との繋がりを大切に**してほしい、などお話しました。
- ・吉本氏からは、普段の業務やプライベートの様子、**一番印象に残っている工事**などについてお話をいただきました。
- ・川添氏からは、**会社を率いる立場から土木技術者として求められること**についてお話をいただきました。

今回の講座が、今後の高校生活を送るうえでの新たな目標に繋がるとともに、進路を決める際の参考になれば幸いです。

座談会形式での意見交換会（公務員志望・民間志望）

公務員志望と民間志望の班に分かれて座談会形式による意見交換会では生徒のみなさんから、

- ・高校生のうちにやっておいたほうが良いこと
- ・資格はとったほうがよいか
- ・給与について
- ・仕事をやめたいと思ったことはないか

など、普段は聞けない質問が多くあり、社会人としての心構えを熱心に聞き入っていました



卒業生が講師を務めた桜井高校出前講座



座学「身近な国の行政機関」について（多東係長）



普段の業務や学生との違いについて（鹿本技官）



公務員志望の生徒さんと意見交換



民間志望の生徒さんと意見交換

理解深め、進路の参考に
整備局黒部 桜井高校へ出前講座

北陸地方整備局黒部河川事務所は19日、県立桜井高校で出前講座を開き、土木に関する説明をこまごま行った。

北陸地方整備局黒部河川事務所は、土木科の2年生40人の卒業生が講師を務めた桜井高校出前講座を開催した。黒部河川事務所の黒部第一係長 多東 慶太郎、工務第一課 技官 鹿本 剛生、園家離岸堤(No.107)ブロック制作その3 工事現場代理人 吉本 遼太郎、大高建設(株) 執行役員 土木部長 川添 将文らが講師を務めた。

講座では、いずれも同校の卒業生が登壇、はじめて同事務所調査課の多東係長が、土木科の2年生40人の卒業生が講師を務めた桜井高校出前講座を開催した。黒部河川事務所の黒部第一係長 多東 慶太郎、工務第一課 技官 鹿本 剛生、園家離岸堤(No.107)ブロック制作その3 工事現場代理人 吉本 遼太郎、大高建設(株) 執行役員 土木部長 川添 将文らが講師を務めた。

講座では、北陸地方整備局黒部河川事務所の黒部第一係長 多東 慶太郎、工務第一課 技官 鹿本 剛生、園家離岸堤(No.107)ブロック制作その3 工事現場代理人 吉本 遼太郎、大高建設(株) 執行役員 土木部長 川添 将文らが講師を務めた。

講座では、北陸地方整備局黒部河川事務所の黒部第一係長 多東 慶太郎、工務第一課 技官 鹿本 剛生、園家離岸堤(No.107)ブロック制作その3 工事現場代理人 吉本 遼太郎、大高建設(株) 執行役員 土木部長 川添 将文らが講師を務めた。

- 実施日時：平成30年8月8日（水） 7:45～15:35
- 場 所：黒部川上流小黒部谷流域ほか
- 対 象：富山県立桜井高等学校 土木部10名
(2年生：**土木科4名、普通科6名**)
- 主 催：黒部河川事務所
- 共 催：富山県建設業協会 入善支部

●内 容：

- ・工事中用トラック（黒部峡谷鉄道）体験乗車
- ・黒部川流域で実施している砂防事業について
- ・祖母谷流域の砂防施設、監視施設について
- ・小黒部谷流域で実施中の砂防工事について
- ・若手技術者との意見交換



トラック終点駅（櫛平）で祖母谷川の砂防施設を見学



小黒部谷での砂防工事現場を見学

- 観光地である櫛平の奥深く、人知れず砂防工事を実施している現場を見学しました。
- これまで観光客として櫛平を訪れたことのある生徒さんもありましたが、はじめて工事中トラックの乗車や、スケールの大きい砂防工事現場を目の当たりにし、砂防を知らなかったが下流域の安全を守っていることがわかった、など、砂防をはじめ公共事業について学んでいただきました。
- また、現場に携わる先輩若手技術者から、この仕事の魅力や充実感などについてお話いただき意見交換しました。

黒部の砂防工事現場を見学
桜井高土木部の生徒ら

黒部川上流の小黒部谷で、黒部川事務所が主催している見学会で、同部所属の土木科と普通科の2年生計10名が、

黒部川上流の小黒部谷で、黒部川事務所が主催している見学会で、同部所属の土木科と普通科の2年生計10名が、

黒部川上流の小黒部谷で、黒部川事務所が主催している見学会で、同部所属の土木科と普通科の2年生計10名が、

平成30年8月15日
朝日新聞 日刊



-先輩OB・若手技術者と意見交換-
「地図に残る仕事」「災害から地域を守る仕事」「現場でものができる充実感」など先輩OBからお話いただきました。

参加した学生からの意見・感想（意見交換会より）

- 砂防のおかげで安全に生活できて幸せだと思う。**将来多くのたくさんの命を守る仕事につきたい。**
- ここ（櫛平）に家族と来たことがあったが、砂防の施設は知らなかった。今日、砂防について**下流域の安全を守っているということがわかった。**
- これまで完成したものしか見たことがなかった。はじめて動いている現場をみて、**時間がかかりたくさんの人とかかわりあいながら進めているとわかった。**
- 様々な工程の**積み重ねで人々の役に立つ仕事**だとわかった。
- 先輩から話を聞いて**建設業もいいな**と思った。

- 実施日時：平成30年11月22日（木） 13:45～15:45
- 場 所：黒部市宇奈月町音澤地先
（黒部川 音沢橋付近右岸）
- 対 象：富山県立桜井高等学校 土木科2年生 40名
 - 主 催：黒部河川事務所
 - 共 催：富山県建設業協会 入善支部

- 内 容：
 - ・黒部川の概要について
 - ・急流河川特有の被災メカニズム、復旧工法（練石張護岸）について学ぶ
 - ・マシンガイダンスを搭載した建設機械を学ぶ
 - ・桜井高校OBの若手技術者による仕事の魅力や経験談



仮締め切り中の現場での説明

- あいにくの雨の中でしたが、平成29年7月出水により被災を受けた時の黒部川特有の被災メカニズムや当時の応急対応の状況、練石張護岸について説明を行うと、生徒達は熱心に耳を傾けていました。
- また近年の建設界の話題として、**i-Constructionの概要を説明し、マシンガイダンス機能が搭載されたバックホウ**を見学しました。
- あわせて、この災害復旧工事の受注者の新入社員であり桜井高校OBの技術者から、**建設界の魅力などについてお話いただきました。**



生徒代表からの御礼の言葉



マシンガイダンスのしくみの説明



先輩OBからのお話に耳を傾ける

参加した学生より



○ 知らないことがたくさんあって驚いた。
このような仕事に携わることも今後の就職活動の選択肢の一つとして考えていきたい。

- 甚大な被害をもたらした平成20年下新川海岸高波災害から10年。時間の流れとともに薄れがちな災害の記憶を思い返し、その経験・教訓を次世代へ語り次ぐための「語り部の会」を開催しました。
- 約180名の参加者のもと、「災害を振り返る」上映にはじまり、高校生や地元建設会社による当時の記憶の振り返り、当時対応された語り部4名を含めたパネルディスカッションなどを行いました。

開催概要

- 日時 | 平成30年11月11日(日) 13:00~15:30
- 会場 | 入善町消防防災センター (入善町上野571)
- 主催 | 下新川海岸水防連絡会
- 参加者数 | 約180名
- 開催内容 |
 - ・上映 「災害を振り返る」
 - ・H20.2.24高波 被災状況及び対応状況
山田 義仁 黒部河川事務所 工務課長
 - ・体験発表
小学生での記憶
青木 颯良さん 富山県立桜井高等学校 土木科3年
応急対応の記憶
大川 浩幸さん 共和土木(株) 土木部 課長
寄り回り波を振り返って
司会朗読 (朝日町在住の方の投稿文)
 - ・パネルディスカッション
「あの時の経験とこれからの備え」
<コーディネーター>
福濱 方哉 富山河川国道事務所長
<語り部>
島倉 与志貴さん 入善町在住 新酒 善彦さん 黒部市在住
大井 光男さん 朝日町在住 神子沢 喜彦さん 入善町参事
<MC>
川口 歳則 富山県立山土木事務所 所長代理
古本 一司 黒部河川事務所長
 - ・パネル展示 (高波災害を振り返る)



体験発表
小学生での記憶を語る青木さん



体験発表
応急対応の記憶を語る大川さん



体験発表に聞き入る参加者



語り部4名を含めた7名によるパネル
ディスカッション
当時の波の様子や対応状況などを語る語り部のみなさん



寄り回り波のしくみを説明する福濱コーディネーター

参加した方からの感想 (アンケート結果より抜粋)



人生58年間に、2度の寄り回り波を経験しており、これが風化されないよう後世に伝えていくべきである。

当時、被災者でした。各々の立場で復興に努力いただいたことにあらためて感謝いたします。私は被災した日を防災グッズ等点検の日とし、災害を考える日としていますが、引き続き気をひきしめていきたいと思いました。



入善町梅津副町長による開会挨拶



「高波災害を振り返る」パネル展示に見入る参加者

まちなか授業inグランドプラザに参加！



富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科では、地域と共に学ぶことの一環として、当学科の1年生を対象とした必修科目「都市と交通を支える建設技術の基礎知識」を、富山の中心市街地グランドプラザにおいてオープン・クラス(まちなか授業)として実施しています。講義には、都市・交通デザイン学科の教員以外に、社会の第一線で活躍するゲストも含めて登壇しています。

今回はその第9回目として、砂防に関する講義を富山県土木部砂防課の森田課長、立山砂防事務所の大坂事務所長が行いました。

日時：平成30年6月22日(金) 13:15~14:45
場所：総曲輪グランドプラザ
内容：第9回『立山砂防と富山の土砂災害対策の最前線』
参加者：富山大学都市デザイン学部
都市・交通デザイン学科1年生45名、一般聴講者



◆プログラム◆

- 40 ○講義1 「富山の砂防」
富山県土木部砂防課 森田 耕司 課長
- 講義2 「立山カルデラの砂防」
立山砂防事務所 大坂 剛 事務所長



講義1：森田 耕司 課長

○講義1

- ・土砂災害とは
- ・土砂災害の実態
- ・激化する理由
- ・富山県の土砂災害の状況
- ・ハード対策による土砂災害対策の推進
- ・ソフト対策による土砂災害対策の推進
- ・立山砂防の世界遺産登録に向けた取組



講義2：大坂 剛 事務所長

○講義2

- ・常願寺川流域の特徴
- ・安政5年(1858)の大災害
- ・デレーケの河川改修(明治24~26年)
- ・直轄砂防事業(大正15年着手)
- ・白岩砂防堰堤(昭和14年完成)
- ・本宮砂防堰堤、泥谷砂防堰堤群 等
- ・工事の安全施工の推進、無人化施工
- ・ICT技術活用(UAV測量、情報化施工)



会場の様子



授業の様子



学生からの質問



一般の方からのコメント



久保田善明教授

質疑応答

- Q：情報通信技術の発展に伴い実施していることは？
A：ドローンで測量を実施、人工衛星の情報利用、鋼製堰堤 等
- Q：工事用軌道(トロッコ)を使い続ける理由は？
A：トロッコと車輛それぞれ利点があり、現場条件や輸送内容で使い分けている。また、トロッコは一般の方の見学にも使っている。

「太田小学校」で出前講座！



暴れ川として有名な常願寺川の特徴や土砂災害の種類、砂防堰堤の役割等々、立山砂防の事業に興味を持ってもらうことを目的として、富山市立太田小学校にて出前講座を実施しました。

小学生ならではの鋭い感性で質問があり、興味津々な児童がとても頼もしく見えました。

開催日：平成30年6月28日(木)
場 所：富山市立太田小学校
参加者：5年生(29名)・ 教員(1名)

- ◆講座内容◆
1. 立山と常願寺川
 2. 立山カルデラ
 3. 土砂災害
 4. 砂防の役割
 5. 立山砂防の仕事



出前講座の様子



メモをとる児童達！



メモメモ！！



砂防堰堤の役割は分かったかな？



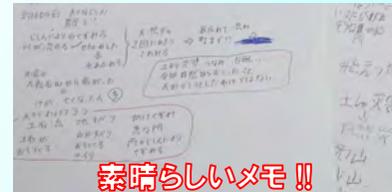
今日はありがとうございました！



は〜い！



質問のあるひと〜??

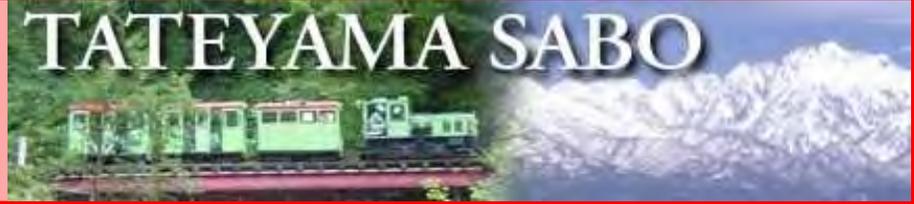


素晴らしいメモ！！

- 【児童からの質問や感想】
- 立山カルデラは自然につくられたの？
 - 「砂防」という言葉は初めて知りました！
 - 砂防堰堤が町を守ってくれていることを学びました！
 - 土砂災害はいつどこで起こるか分からないので気を付けようと思います！ …etc

今回の出前講座は、昨年度に引き続き「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援しました(昨年度は、立山町立立山中央小学校)。また、来る9月4日(火)には当事務所管内の現場を見学、9月28日(金)には土砂災害の模型等による講座も支援する予定です。

Vol. 14 H30.6.29 『僕ら「さぼう」探検隊！』を開催 土砂災害とは？ ～上市町立陽南小学校～



立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼう」探検隊！』と称し、「総合的な学習」を支援しています。

開催日 平成30年6月29日(金) 13:45～14:50
 場所 立山砂防事務所構内
 参加者 上市町立陽南小学校
 5、6年生:24名 引率者:5名 【計29名】
 ※今回は、富山県 立山土木事務所が行う
 「こども砂防教室」の一環として開催されました。



土砂災害には種類があります



42

土砂災害の恐ろしさが良くわかりました！
 ありがとうございました！

【児童からの質問】

Q 砂防堰堤1基で、土石流は防げるの？
 A 地域によって、どのくらいの土砂があるかで変わってきます。
 1基で防げる場合もあれば、10基、20基と必要になることも。
 立山砂防事務所では100基以上の砂防堰堤をつくり、みんなの住んでいる地域を土砂災害から守っています。



世界遺産登録人材育成プロジェクト ユースプログラム(高校生コース)に参加！



世界遺産の現状や課題、世界文化遺産登録を目指す立山カルデラの歴史的砂防施設群などについて若い世代への普及啓発を図ることにより、未来の世界遺産を守る基盤づくりと「立山・黒部」の世界遺産登録の推進に寄与することを目的として、「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(高校生コース)」が7月23日～25日の3日間にかけて行われております。

今回はその第1日目の3講座のうち、立山砂防事業に関する講義を、立山砂防事務所の大坂事務所長が行いました。

- 日時 : 平成30年7月23日(月) 13:00～14:20
- 場所 : 富山県民会館701号室
- 名称 : 平成30年度世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(高校生コース)
- 主催 : 富山県世界遺産登録推進事業実行委員会(富山県、関係機関、民間団体、有識者等により構成)
- 参加者 : 県内高校生 37名

◆プログラム◆

- 講座1 「立山・黒部の世界遺産登録の取組み」
富山県総合政策局 企画調整室
- 講座2 「立山の自然と災害」
立山カルデラ砂防博物館 本田 孝夫 館長
- 講座3 「立山砂防事業・現在の暮らしと砂防」
立山砂防事務所 大坂 剛 事務所長

○講座3

・はじめに

先日、西日本で大きな災害が発生した。これと同じような災害が約150年前に富山県内でも発生した。その災害のために、富山平野が高さ2mほど埋まってしまうほどの約2億m³の土砂が、現在も常願寺川上流に存在している。この土砂との戦いが現在に至るまで繰り返されてきた。



講座3 : 大坂 剛 事務所長

- ・立山カルデラの周辺
- ・常願寺川流域の特徴
- ・安政5年の大災害
- ・砂防事業の歴史
デレーケの河川改修、富山県による砂防事業、直轄砂防事業、白岩砂防堰堤本宮砂防堰堤、泥谷砂防堰堤群、多枝原砂防堰堤群、立山砂防工事専用軌道
- ・最新工法
無人化施工、シャッター付き砂防堰堤 ICT技術の活用 (UAV、MG工法)
- ・「TEC-FORCE」派遣 など



会場の様子



講義の様子

「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム」とは..

専門家を招いての世界遺産講座や、世界遺産“候補”である立山カルデラの歴史的砂防施設群などの見学を通じて、若い世代に富山県の世界遺産“候補”について知っていただくプログラムです。

平成25年度から大学生等を対象に実施しており、昨年からは高校生向けコースが新設されました。

「第22回SABO体験楽校」を開催！



富山平野と砂防の関わりを楽しみながら理解を深める目的として、富山県内の高校生が参加する「SABO体験楽校」を毎年開催しています。

今年の「SABO体験楽校」では、9名の高校生が工事現場での実体験や砂防事業に携わる人々との交流を通じて、学校の授業では得られない貴重な体験をしました。

開催日：平成30年7月31日(火)～8月2日(木)【2泊3日】

場所：立山砂防事務所管内

参加校：富山県立桜井高等学校 4名
富山県立富山工業高等学校 5名 計9名

主催：立山砂防事務所
一般財団法人 富山・水・文化の財団



開校式

開校式の様子



開校式

代表者挨拶



主催者挨拶



自己紹介



修了証授与



記念撮影



立山カルデラ砂防博物館見学



枕木交換体験(協力:富山地鉄建設㈱)



ドローン

ICT施工ドローン操作体験(協力:辻建設㈱)



ロープ作業体験(協力:新栄建設㈱)



生コンプラント見学
(協力:水谷生コンクリート事業協同組合)



土砂災害模型実験



天涯の湯清掃(協力:松嶋建設㈱)



コンクリート打設体験(協力:丸新志鷹建設㈱)

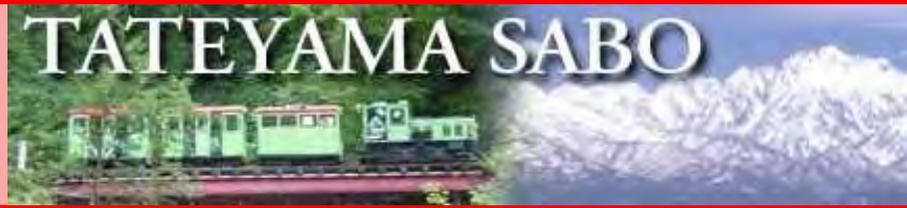


水谷出張所

参加された生徒からの感想

- 普段体験できないことばかりで良い経験になりました。
- 学校では学ぶ事のできない貴重な体験をさせていただきました。
- 3日間の貴重な体験を生かせるように努力していきます。
- 楽しく学ぶ事ができました。

Vol. 21 H30.8.10 『僕ら「さぼう」探検隊！』を開催 砂防堰堤とは？ ～富山市立福沢小学校～



立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼう」探検隊！』と称し、「総合的な学習」を支援しています。

開催日 平成30年8月10日(金) 10:00～11:40
 場所 立山砂防事務所構内
 参加者 富山市立福沢小学校
 3～6年生:15名 引率教諭:3名 父兄:8名
 富山法人会青年部会:10名 【計36名】
 ※今回は、富山県法人会青年部が行う
 「租税教育バス」の一環として開催されました。



砂防堰堤見学



土石流体感3Dシアター



トロッコに乗車

常願寺川の特徴や砂防堰堤の役割について勉強しました！

土石流の特徴や非常時の備えを勉強しました！



土石流模型実験



児童からお礼の言葉をいただきました！



トロッコと記念撮影！



砂防堰堤はすごいなあ～！

常願寺川の特徴と砂防堰堤の働きがよくわかりました。ありがとうございました！

45



砂防を専攻する大学生を対象に、工事現場体験や中山間地域での生活体験を通して、砂防工事が行われている流域の現状や地域防災への取り組みなどを学び、学習意欲の喚起と職業意識の育成を図ることを目的とした『キャンプ砂防2018 in 立山』が開催されました。

開催日：平成30年8月20日（月）～23日（木）4日間

場所：常願寺川流域（富山県中新川郡立山町及び富山市）

参加者：大学生 5名

（信州大学、群馬大学、広島大学、岩手大学、京都大学）

主催：立山砂防事務所

協力：富山市、立山町、立山カルデラ砂防博物館

46

工事体験及び現場視察

枕木交換体験



協力：富山地铁建設（株）

生コン打設体験



協力：丸新志鷹建設（株）

ドローンによる写真撮影体験



協力：（株）林土木

現地視察



白岩砂防堰堤



多枝原平展望台



水源地調査（空室）

ICT施工体験



協力：辻建設（株）

ロープ作業体験



協力：新栄建設（株）

生コンプラント視察



協力：水谷生コン事業協同組合

開講式



立山砂防事務所
大坂事務所長

富山市
笹岡参事

立山町
竹島建設課長

地域行政視察



富山市建設部建設政策課



立山町（舟橋町）

報告会及び閉講式



報告会の様子



修了証書授与

報告会での意見・感想（抜粋）

- 実際に行ってみると、立山砂防の規模の大きさや工事の困難さを目の当たりにし、スケールの大きさにとても驚いた。
- 大学で学んでいる知識について、実際にどのように活かせるかを今後の研究の中で考える良い機会となった。
- 砂防の第一の目的は土砂災害を防ぎ被害を最小限に抑えることにあるが、観光の面でも非常に魅力的であり、多くの人に知ってもらいたいと感じた。
- 将来は多くの人々に砂防に関して知ってもらい、命を守る事業が行われていることを伝える仕事がしたいと感じた。
- 立山砂防が世界遺産になれば、SABOの知識が世界にもっと広がり、立山砂防で培われた知識が世界中の人知ってもらえる良い機会になると感じた。

キャンプ生の皆さま、お疲れさまでした。

Vol. 23 H30.8.23

世界遺産登録人材育成プロジェクト ユースプログラム(大学生等コース)に参加！



世界遺産の現状や課題、世界文化遺産登録を目指す立山カルデラの歴史的砂防施設群などについて、若い世代への普及啓発を図ることにより、未来の世界遺産を守る基盤づくりと「立山・黒部」の世界遺産登録の推進に寄与することを目的として「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(大学生等コース)」が8月22日～25日の4日間にかけて行われております。

今回はその第2日目の3講座のうち、立山の砂防事業に関する講義を、立山砂防事務所の大坂事務所長が行いました。

日時：平成30年8月23日(木) 13:00～14:30
場所：富山県民会館704号室
名称：平成30年度世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(大学生等コース)
主催：富山県世界遺産登録推進事業実行委員会(富山県、関係機関、民間団体、有識者等により構成)
参加者：大学生等9名、その他庁内聴講者13名

◆プログラム◆

- 講座2 「立山の自然と災害」
立山カルデラ砂防博物館 本田 孝夫 館長
- 講座3 「立山砂防事業・現在の暮らしと砂防」
立山砂防事務所 大坂 剛 事務所長
- 講座4 「立山・黒部の世界遺産登録の取組み」
富山県総合政策局 企画調整室

○講座3

・はじめに

富山県内には3000m級の山々がそびえ、美しい景観と引き換えに土砂災害のポテンシャルが高い地域と言える。160年前に県内で発生した土砂災害による土砂が現在も常願寺川上流に存在しており、この土砂との戦いが現在まで繰り返されてきた。



講座3：大坂 剛 事務所長

- ・立山カルデラの周辺
- ・常願寺川流域の特徴
- ・安政5年の大災害
- ・砂防事業の歴史
デレーケの河川改修、富山県による砂防事業、直轄砂防事業、白岩砂防堰堤、本宮砂防堰堤、泥谷砂防堰堤群、多枝原砂防堰堤群、立山砂防工事専用軌道
- ・最新工法
無人化施工、シャッター付き砂防堰堤
ICT技術の活用(UAV、MGI法)
- ・「TEC-FORCE」派遣 など



会場の様子



講義の様子

・Q&A

Q: 立山砂防のような大規模な砂防事業は、全国的には他に何があるのか？

A: 南は九州から北は北海道まで様々な事業が行われており、それぞれ特徴があるので中々ひとまとめにはできない。
上流部に土砂が貯まっており下流の市街地を守る【水系砂防】の代表格は立山砂防。火山噴出物などから下流を守る【火山砂防】の代表格は桜島や大沢崩れなど富士山の砂防事業など。

「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム」とは..

専門家を招いての世界遺産講座や、世界遺産“候補”である立山カルデラの歴史的砂防施設群などの見学を通じて、若い世代に富山県の世界遺産“候補”について知っていただくプログラムで、平成25年度から実施しています。

「太田小学校」で出前講座！“土砂災害の実験を体験”



今年の6月に続いて、5年生に向けた出前講座を実施しました。今回は、常願寺川の特徴や土砂災害のメカニズム等々について勉強しましたが、今回は、より理解を深めるため土砂災害に関する実験を行いました。児童達は、実際に土砂災害のミニ模型や実験を体験し、いろいろな感想を聞かせてくれました。

開催日 : 平成30年9月28日(金)
場所 : 富山市立太田小学校
参加者 : 5年生(30名)
教員(1名)



48



屋外での実験



砂防堰堤を設置!



土石流模型実験



地すべり模型実験



がけ崩れ模型実験



パネル説明



勉強したことをしっかりとメモ!!



今日はありがとうございました!

【児童の感想】

- 土石流の実験や土砂災害のミニ模型を実際に体験して、とても勉強になりました。
- 土砂災害には土石流、地すべり、がけ崩れの3つあることを学びました。
- 土石流を防ぐために砂防堰堤が必要であることを勉強しました。
- 等々沢山の感想を頂きました。

今回の出前講座は、「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援した出前講座です。

第一回目の出前講座は、6月28日に開催しました。VOL. 12で紹介していますので是非ご覧になって下さい。

富山大学都市デザイン学科の学生を対象に現場見学会を実施

平成30年 7月20日(金)、富山大学都市デザイン学科の生徒を対象に常願寺川の河川改修の歴史をテーマに学習会と現場見学会を実施しました。

学習会では参加された学生の方から常願寺川の改修の歴史についての質問の他普段の業務についての質問があり現場見学会を通して建設業界に関心を持ってもらうことができました。

事前学習会



常願寺川の災害と改修の歴史をテーマに事前学習会を実施し以下のような発言がありました。

- ・過去の災害ではどのような被害があったのか
- ・常願寺川での河川改修における課題は何か
- ・巨大水制群にいろいろな形があるのはなぜか
- ・今後の改修ではどのような治水工事を検討しているか

現場見学会



上滝床固め



常願寺川河口部

現場見学会での感想

- ・常願寺川の災害や河川改修について学ぶことができた
- ・急流河川特有の治水工法を見ることができてよかった

高岡工芸高校3年生が工事現場を見学

- 開催日 : 平成30年5月21日(月)
参加者 : 高岡工芸高校3年生 27名
場所 : 国道359号砺波東バイパス(いかるぎの大橋上部その1工事外2工事)
概要 : マシンガイダンス付バックホウ見学、鉄筋組立体験、若手技術者(同校OB)の体験談



マシンガイダンス付バックホウの見学



写真測量の説明



鉄筋組立の体験



コンクリート構造物の非破壊試験説明



若手技術者の体験談



集合写真



金沢工業大学、反転事業(講座、現場視察)

- 開催日 : 平成30年6月22日(金)
参加者 : 金沢工業大学 環境土木工学科 1年生98名、4年生8名
場所 : 国道359号砺波東バイパス(いかるぎの大橋上部その1工事、その2工事)
概要 : 砺波東バイパス事業概要、反転事業の課題(中空床板橋の利点、施工上の留意点等)



事務所概要、工事概要に関する説明(金沢工業大学)



工事の説明を聞く参加者(いかるぎの大橋その1工事)



中空床板模型を見学する参加者(いかるぎの大橋その1工事)



中空床板を視察する参加者(いかるぎの大橋その2工事)

開催日：平成30年8月3日(金)、4日(土)

場所：富山大学都市デザイン学部(五福キャンパス)

内容：災害対策車(ポンプ車、照明車)、道路パトロールカー、パネルの展示

富山大学「都市デザイン学部」は、2018年4月に開設された新しい学部です。高校3年生と保護者を対象としたオープンキャンパスが開催され、大学からの出展依頼を受け、担い手育成の観点から、将来の就職先の一つとしてイメージしていただくため、大学出展しました。



都市デザイン学部



災害対策車の説明状況



富山河国パネルの設置状況



災害対策車の展示状況



パネルの説明状況



パネル展示ブース内状況

高岡工芸高校2年生が工事現場を見学

開催日 : 平成30年9月21日(金) ※富山県建設業協会主催

参加者 : 高岡工芸高校2年生 28名

場所 : 国道359号砺波東バイパス(いかるぎの大橋上部その1工事外1工事)

概要 : マシンガイダンス付きバックホウ見学、非破壊試験、若手技術者(同校OB)の体験談



事業、工事の概要説明



マシンガイダンス付きバックホウ見学



UAV(無人航空機)の操作体験



写真測量の説明



コンクリート構造物の非破壊試験



若手技術者の体験談

富山工業高校2年生が工事現場を見学

開催日 : 平成30年9月28日(金) ※富山県建設業協会主催

参加者 : 富山工業高校2年生 40名

場 所 : 国道41号猪谷楡原道路(猪谷橋上部工事、小糸道路その4工事)

概 要 : マシンガイダンス付バックホウ見学、UAV操作体験、若手技術者(同校OB)の体験談



事業、工事の概要説明



マシンガイダンス付きバックホウ見学



UAV(無人航空機)の操作体験



橋梁上部工事の現場見学



ボルト締め体験



若手技術者の体験談

南砺福野高校1、3年生が工事現場を見学

- 開催日 : 平成30年10月23日(火) ※富山県建設業協会主催
参加者 : 南砺福野高校1年生30名、3年生2名
場所 : 国道359号砺波東バイパス(いかるぎの大橋上部その1工事外3工事)
概要 : MCブルドーザ・上部の見学、若手技術者(同校OB)の体験談



事業、工事の概要説明



MCブルドーザの見学



工事について質問する高校生



上部工(PC中空床版)の見学



若手技術者の体験談



集合写真

富山県立大学3年生が工事現場を見学

開催日：平成30年11月12日(月)

参加者：富山県立大学 工学部 環境・社会基礎工学科 3年生 24名

場所：国道8号付加車線設置工事(小矢部地区交通安全対策事業)

概要：施工状況見学、若手技術者及び女性技術者による建設業の魅力や体験談の紹介



事業の概要説明



工事の概要説明



鋼矢板の施工状況見学



若手、女性技術者の体験談を聞く学生



体験談を紹介する若手、女性技術者



工事について質問する学生

平成30年8月4日(土)に利賀ダム連絡協議会、利賀ダム建設口山地区対策協議会、利賀地域児童生徒育成会主催の「利賀ダム見学イベント2018～五感で味わう、利賀ダムの魅力～」に当事務所の他、南砺市、富山県砺波土木センター、利賀ダム工事事務所安全対策協議会と共にお手伝いいたしました。

今回は、『利賀大橋』(利賀ダム工事用道路 兼 一般国道471号利賀バイパス) 開通式典(10月14日開催)のプレイベントとして、ダム建設事業への関心を持ってもらうことを目的に開催し、児童生徒19名を含む85名の地元の方々にご参加いただきました。

イベントの最後には、庄川遊覧船から利賀大橋を見学しました。船内では、利賀ダム事業や利賀大橋の説明に熱心に耳を傾けて頂き、最後は大きな拍手をいただきました。



イベントのチラシ

【実施状況】



利賀大橋にて記念撮影



子供達と一緒にダムカレー試食!



遊覧船へ乗込み
利賀大橋を見学!

平成30年10月30日(火)、「産((一社)日本埋立浚渫協会、富山県港湾建設協会)・「学(富山工業高等学校)・「官」の3者が連携し、富山工業高校土木工学科1年生40名を対象に、伏木富山港(新湊地区)の港湾工事の現場見学会を実施しました。

まず貨物量の増大・コンテナ船の大型化に対応するための既存岸壁の延伸工事についての事業概要の説明を伏木富山港湾事務所から、実際の工事の概要説明を受注者から説明した後、現場見学場所に移動し、栈橋上部工の鉄筋組み立て状況を見学。

見学後、隣接工事を施工している受注者の女性技術者(入社2年目)から「建設工事を選んだ理由」と題して、土木を選択した理由、現場の良い点・困った点など本音も含み分かりやすく高校生に話していただきました。

質疑応答では、「1日の作業ノルマが細かくあるか?」「これまで一番の失敗は?」「給料はどれくらいか?」などの幅広い内容の質問がありました。

現場見学会の状況



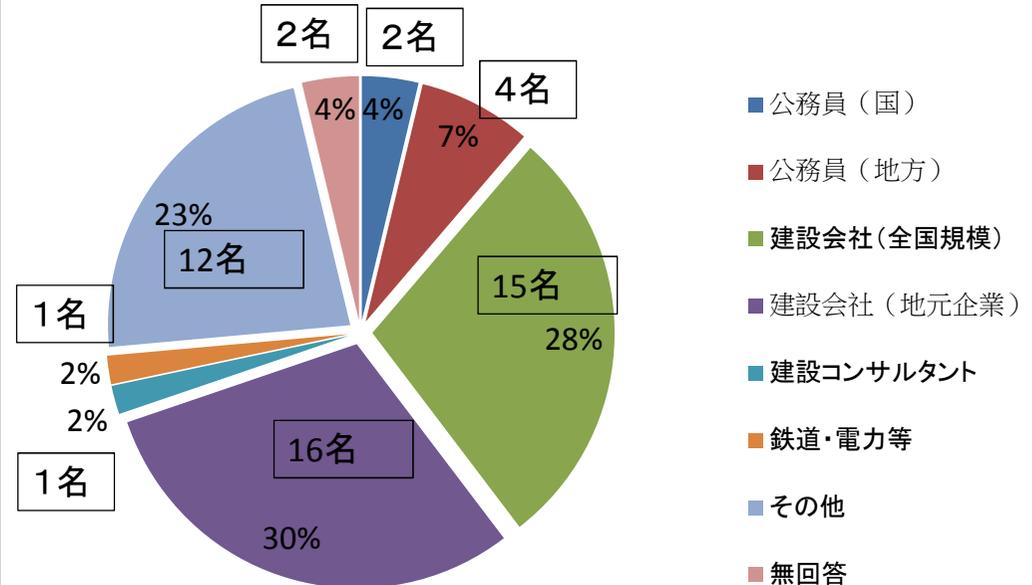
平成30年12月14日(金)、富山河川国道事務所、伏木富山港湾事務所で、富山工業高校土木工学科2年生39名(1名欠席)を対象に座学「国土交通省の仕事」として、北陸地方整備局の河川・道路・砂防・港湾の事業について講義を実施しました。

約90分の講義を行い、1時間目は富山河川国道事務所 副所長より「社会資本整備のあゆみ」として、砂防・河川・道路整備の歩みとICT 技術を活用したネットワークの構築、広域危機管理体制やTEC-FORCE 等の災害への備えを講義し、2時間目は伏木富山港湾事務所 前任建設管理官より「港湾整備事業について」として港の役割や北陸地方整備局の港湾の整備事業、みなとまちづくり等を講義しました。

講義の様子



(アンケート結果)
将来の進路はどのように考えていますか？(複数回答)



普段の暮らしにも密接な関わりを持つ伏木富山港について学び、興味や関心、愛着を持ってもらえる機会を提供することを目的として、射水市内小学校及び高岡市内小学校の5年生を対象に「みなとの見学会」を実施しました。

合計参加者数は、射水市内小学校4校284名、引率者20名、高岡市内小学校4校169名、引率者20名となった。

また、今年では当事務所職員が小学校に出向いて「出前授業」も実施しました。

【みなと見学会】

射水市内小学校

新湊大橋（あいの風プロムナード）を徒歩で見学→富山県営渡船（越の潟フェリー）乗船見学→国際物流ターミナル見学

6/27	射水市立 太閤山小学校	5年生	74名	引率者他	5名
6/28	射水市立 下村小学校	5年生	18名	引率者他	3名
7/2	射水市立 中太閤山小学校	5年生	46名	引率者他	4名
7/13	射水市立 大門小学校	5年生	146名	引率者他	8名
	合計		284名		20名

高岡市内小学校

港湾業務艇「なごかぜ」船上から伏木富山港（伏木地区）を見学→新湊大橋（あいの風プロムナード）を徒歩で見学

7/4	高岡市立 伏木小学校	5年生	50名	引率者他	6名
7/9	高岡市立 太田小学校	5年生	13名	引率者他	4名
7/9	高岡市立 古府小学校	5年生	25名	引率者他	4名
9/18	高岡市立 牧野小学校	5年生	81名	引率者他	6名
	合計		169名		20名



みなとを見学（港湾業務艇なごかぜ船上から）



国際物流ターミナル見学



新湊大橋（あいの風プロムナード）見学



新湊大橋前で記念撮影

【出前授業】

射水市内小学校

写真やクイズをおりませながら「港」の役割や「伏木富山港」について学習してもらいました。

7/19	射水市立 大島小学校	5年生	138名	引率者他	5名
------	------------	-----	------	------	----



出前授業の様子

建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(社会資本の役割や建設産業の魅力のPR)

県政バス「富山どぼく発見！ツアー」(H20～)

- ・平成30年8月14日(火)実施 29名参加(子供15名、保護者14名)
- ・小学生以上18歳以下の子供とその保護者等を対象
- ・県内の土木施設や施工現場などを見学

(主な内容)

- ・富山新港の見学(国際物流ターミナル、新湊大橋 等)
- ・富山テレビ放送「元気とやま みんなのクイズ」に回答者として参加

平成30年度の様子



富山新港の見学



元気とやま みんなのクイズ

富山県立大学「ダ・ヴィンチ祭」へ建設業ブース出展

- ・平成30年8月4日(土)実施 195名受付(高校生以下116名、一般79名)
- ・建設業協会、建設コンサルタント協会、測量設計業協会と連携して実施
- ・建設業のイメージアップ、将来の担い手確保のため、楽しみながら建設技術を体験

(主な内容)

- ・ドローンの飛行実演 ・測量体験 ・VR(バーチャルリアリティ)建設現場体験
- ・ラジコン重機の遠隔操作 ・ペーパーブリッジの製作

平成30年度の様子



VR体験



ペーパーブリッジ

「ミル・シル・マナブとやまの土木・建築見学会」(H29

- ・第1回 30年8月8日(水)実施 27名参加(学生18名、教員9名)
- ・第2回 30年12月7日(金)実施 19名参加(学生12名、教員7名)
- ・富山県立大学及び富山大学と連携し、将来の土木技術者をめざす両大学の学生及び教員を対象とした見学会を開催

(主な内容)

- ・第1回 国道41号猪谷楡原道路事業(ICT活用工事)、今町地区急傾斜緊急改築法面工工事、富山きときと空港の見学
- ・第2回 伏木富山港(新港地区)、庄川水系地久子川護岸工工事、県道高岡環状線道路改良工事(橋梁上部工・下部工)

平成30年度の様子



ICT建機、ドローン体験



今町地区急傾斜

建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成)

将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成

○女性が活躍できる労働条件改善補助事業

建設企業等が行う、最新型の作業服等(空調付き作業服・ヘルメット等)の購入、労働条件改善のための社内規定の整備(育児・介護休業制度の導入等)など、女性も働きやすい職場になるような労働環境改善の取組みへの支援を実施(H27～)



空調付き作業服

○建設業若者活躍支援事業

事業者団体が行う、若年層の入職・定着・育成の取組みへの支援を実施(H30)

- ・資格取得支援講座 <対象>在職者

土木・建築施工管理技術検定試験の短期集中対策講座の開催

- ・就職直前技能向上研修 <対象>高校生

玉掛け及び小型移動式クレーン運転技能講習の開催

- ・新入社員向け研修 <対象>新入社員

技術力向上や離職防止を図るための研修の開催

○「もっと女性が活躍できる建設業」支援事業

内閣府の「地域女性活躍推進交付金」を活用し、建設業における女性活躍推進を図るため、女性技術者や経営者等を対象とした研修会を開催(H30)

【H30実績】(募集修了)
・トイレの改修 3社
・最新型作業服の導入 2社



建設業以外の新分野への進出に取り組む建設企業に対する支援

○建設業新分野進出等支援補助事業

経営基盤の強化に向け、プラン策定、事業立ち上げ、事業定着に要する費用を助成し、建設企業の新分野進出を支援(H18～)

【H30実績】
1社 (11月末現在)



木製品の企画・製作・販売



完全人工光型植物工場

女子学生を対象とした現場見学会

【取扱注意】

- 期 日 平成30年10月29日(月)
- 参加者 富山県立大学 環境・社会基盤工学科 女子41名、畠教授、吳准教授、手計准教授
(1年19名、2年10名、3年4名、4年7名、院1名)
- 内 容 1. 現場見学
- ①庄川・柳瀬護岸災害復旧その2工事
説 明：富山河川国道事務所大門出張所、(株)岡部 高見るみ子
その他：情報化施工説明・ICT建機見学、ドローン操作体験
 - ②小矢部川・西中野堤防強化工事
説 明：富山河川国道事務所小矢部出張所、射水建設興業(株) 金塚歩美
その他：現場事務所見学(快適トイレ等)
2. 女性技術者との意見交換会



庄川・柳瀬護岸災害復旧 (ICT建機)



庄川・柳瀬護岸災害復旧 (ドローン)



小矢部川・西中野堤防強化工事 (技術者の仕事)



小矢部川・西中野堤防強化工事 (現場事務所)



意見交換 (女性技術者の働き方等)



意見交換 (質疑応答)

女子大学生の現場見学会 意見交換での特徴的な意見

●説明

- ・技術者の役割、仕事内容
- ・女性技術者の一日（出産前と出産後の比較）。
- ・産前産後休暇など福利厚生状況

●質疑応答

学 生：現在3年生で、進路に悩んでいる。なぜ、コンサルや公務員でなく施工管理の仕事を選んだのか。

技術者：元々、現場での作業に興味があったが、体力面では男性にかなわない。施工管理の仕事なら、体力がない女性でもできるのではないかと思い、施工管理の仕事に就こうと考えた。

技術者：女性の先輩がいて、施工管理の仕事ができるというのが理由。入社当時、女性はすぐやめるのではないかと言われていたが、先輩の女性技術者の存在が大きく、仕事を続けてこられた。

学 生：男女で賃金の差はあるか。

技術者：施工管理において男性と女性の給与差はない。女性でも男性と同様に評価され、資格や実績がボーナスに反映される。

学 生：残業はあるか。

技術者：あるが、現場の作業自体は17時までで、それ以降は書類作成などの事務仕事となるが、正直コンサルより少ないと思う。コンサルは帰りが22時とか23時と聞く。また、公務員もそれなりに残業している。施工管理だからと言って特別残業が多いわけではない。

学 生：旅行が趣味だが、社会人になったら長期旅行には行けないのか。

技術者：現場の工期は、半年～1年。それが終わったら、まとめて休暇を取得したりして海外旅行などに行っている。年末年始などと合わせれば2～3週間の休みを取ることも可能。この業界は、土日仕事の場合がある代わりに、その分まとめて休みが取れるので、他の業界よりも旅行に行きやすいと思う。

学 生：育児休暇はどれくらい取得できるのか。

技術者：弊社では1年。ただ、自分の場合は保育所への入所手続きの都合上、1年未満で復帰した。法律上、時短勤務や看護休暇など、制度がたくさんある。私の場合は、自分で調べて会社に認めてもらった。

●技術者からのアドバイス

- ・女性技術者の先輩がいる会社に入社したほうが、会社も女性への配慮や扱いに慣れているので、よいと思う。
- ・この業界には女性が少ないがゆえに、他社の女性技術者とも仲良くなりやすい。大変なイメージもあるが、その仕事をやりたいかどうかだと思ふ。やってみたいなと思ったら、一回やってみた方がよい。

●今日の感想

- 2年生 将来のことを決めずに参加したが、ドローンの操縦は貴重な体験だった。
- 2年生 今日見学したような仕事は、自分の進路として考えていなかったが、女性でもできるのだと分かった。会社にもよると思うが、福利厚生も充実している。この仕事への興味が出た。地元でもこのような会社を探してみたい。
- 4年生 一番ためになったのは、技術者の方が、自分で権利をいろいろ調べて会社に訴えた点。主張していくことが大切だと思った。
- 4年生 自分の進路はすでに決まっている。男性に負けないような技術や几帳面さを活かしてがんばりたい。
- 1年生 元々、現場監督になりたくて、この学校に来た。今日はリアルな話が聞けてよかった。
- 1年生 今日体験して、イメージしていたのと全然違った。地元で働こうと思っていたが、富山の会社もいいなと思った。 ※滋賀県出身
- 1年生 これまで、企業の方から話を聞くことはあったが、女性技術者の話を聞くことはなかったので、今日はよい経験になった。

●終了後のインタビュー

- 1年生 この業界で女性が活躍しているイメージがなかったが、今日の現場を見学して、女性も男性と同等に仕事ができると感じた。
- 1年生 将来、子どもができた時に休みが取れるか不安があった。今日話を聞いた3人の女性技術者の方は、皆、楽しそうだった。大変でも自分の仕事に誇りを持ってやっていることが伝わってきた。今日はほとんど知識がないまま参加したが、かなり興味が湧いた。進路選択では、建設業以外のほかの業界も見てから決めたい。

平成30年7月13日(金)、富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科の学生(1年生 6名)を対象に、「まちなか授業フィールドワーク」講義に協力し、現場見学会 & 意見交換会を開催しました。

「まちなか授業フィールドワーク」とは、富山県内の様々な土木の現場を訪問し、土木技術を学ぶ一環として同大学が企画した教育プログラムであり、当協会として社会インフラ整備の一役を担う建設コンサルタント業の仕事紹介をさせていただきました。

7月27日には、富山の中心市街地である「グランドプラザ」において、一般市民が見守る中、学生による報告会が開催されました。

建設コンサルタントの役割や新湊大橋の概要についての講義 & 意見交換会



久保田先生による開会挨拶



講義 & 意見交換会の状況

◆講義 & 意見交換会の内容

〔第1部：建設コンサルタントの役割〕

- ・建設コンサルタントは何をする会社か？
- ・建設コンサルタントのミッション
- ・建設コンサルタントのビジネスモデル

〔第2部：新湊大橋の概要〕

- ・橋の概要と構造的な特徴
- ・大規模地震や振動に対する対策 など

学生による報告会(平成30年7月27日)



報告会の状況(グランドプラザにて)

◆報告会を傍聴しての感想

- ・今回の講義で学んだことを堂々と発表していた
- ・難しい質問にも何とか答えようとする姿が印象に残った
- ・公共交通を軸としたコンパクトシティを目指す富山の街をフィールドとして学んだことを今後の活躍に活かしてもらいたい

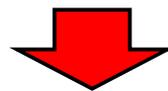
現場見学会(新湊大橋)



現場見学会の状況

◆現場見学会の目的

- ・事前に受けた講義の内容を現場で再確認
- ・図面等では感じ取れないスケールを体感
- ・直に目で見て初めて気づく疑問の発見



前半の講義より現場見学会の場の方が活発な意見交換が行われた

H30年度新教育プログラム

「富山建設界の業界研究を通じたキャリア形成支援と県内定着の推進」

実施報告

2018年10月25日（木） 13：10～14：40

富山県建設業協会高岡支部と 学生との意見交換会

学生たちの思考， どうして富山に残らない？， どうして建設業を選ばない？

学生25名
企業11名



女子学生のための現場見学会 (富山県建設業協会共催)

2018年10月29日(月) 休講日

現場見学①庄川・柳瀬護岸災害復旧その2工事(女性監理技術者)

現場見学②小矢部川・西中野堤防強化工事(女性監理技術者)



2018年11月14日（水） 17：00～19：00

県内建設・環境系企業研究会



(一社)斜面防災対策技術協会 富山支部
富山県地質業協会

(一社)富山県測量設計業協会

環境系企業

(一社)富山県建設業協会

	会社名
1	大高建設(株)
2	共和土木(株)
3	丸新志鷹建設(株)
4	朝日建設(株)
5	(株)高田組
6	辻建設(株)
7	(株)牧田組
8	砺波工業(株)
9	松本建設(株)

	会社名
1	ダイチ(株)
2	(株)アーキジオ
3	(株)村尾地研
4	安達建設(株)
5	野原建設(株)

	会社名
1	北陸コンサルタント(株)
2	(株)新日本コンサルタント
3	(株)上智
4	北建コンサル(株)
5	(株)寺島コンサルタント
6	(株)明和
7	(株)雄川コンサルタンツ

	会社名
1	日本海環境サービス(株)
2	アースコンサル(株)
3	(株)アイザック
4	(株)富山環境整備

参加企業：25社

参加学生：学生42名（B3、B4、M1）

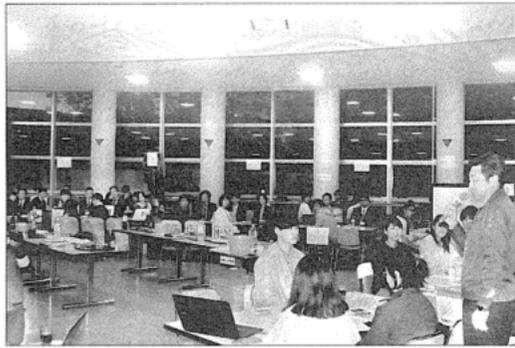
企業研究会を初開催

建設・環境系企業25社が参加

富山県立大学(射水市)研究会を初めて開催した。黒河は14日、工学部環境・社会盤工学科の学生が県内の建設・環境系企業と情報提供や意見交換などを通じ、建設業界の魅力に触れる「企業研



あいさつする伊藤始教授



学生にヒールする企業関係者

技術協会富山支部・富山県地質調査業協会加盟の5社、富山県測量設計業協会加盟の7社および環境系企業4社の計25社の幹部、総務・人事担当、技術者などの関係者が参加した。

冒頭、同学科の伊藤始教授があいさつし、「この数年、学生達があまり企業のことを知らずに就職活動を続けている。マッチが起きている。それを防ぐために、企業のことを学生達に教えてもらいたい。学生には、非常に良い機会なので、チャンスだと思っ、給料、待遇、普段聞けないことなど、いろいろ聞いてほしい」と述べた。



企業関係者と学生との面談

「100年を超える歴史がある」「国際事業部がある」「地元密着で事業している」「どう自己啓発をすすめるかを大切にしている」「県立大の卒業生が多い」「しっかりと現場監督に育てる」「休日・休

又を回り、各会社の担当者との面談を行い、その後には各学生が自由に企業アセスメント、活発に意見を交換した。また、会場には飲み物や食事を用意され、参加者はリラックスした雰囲気を楽しんだ。

今回の企業研究会は、平成30年度新教育プログラムキャリア形成支援事業「富山建設界の業界研究を通じたキャリア形成支援」と県内定着の推進の一環で、学生に建設界の多様な仕事を適切に理解してもらうとともに、建設界に学生の表情を知ってもらおうことが目的。

また、学生に県内企業を正しく理解してもらうため、県内出身学生の定着化に加え、県外出身学生の富山県への移住も考えて、建設界の持続的発展のために若い技術者を社

会に送り出したいという思い、同学科の手計太一准教授は、「来年度以降も継続して開催していきたい」と話している。

参加企業は次の通り。
富山県建設業協会・大高建設 共和土木、丸新建設、朝日建設、高田組、辻建設、牧田組、砺波工業、松本建設

富山県測量設計協会・北陸コンサルtant、新日本コンサルtant、上野、北建コンサル、寺島コンサルtant、明和、雄川コンサルtant

環境系企業・日本海環境サービス、アイスコ、富山環境整備

1基(V=233m³)、鋼管杭基礎工N=一式(φ800、L=15.0m N=16本)
▽主要地方道高岡環状線道路改築橋梁下部工

提出書類はA4版、ひも綴じまたはタイクリップ留めし、受付票を添えて持参または郵送で提出する(ファイル送付にしない)。

富山県農林地すべり防止(袖ノ木ボーリング)共栄興業が落札

富山県農林振興センターは14日、「地すべり防止(袖ノ木)ボーリング工事」を条件付きで

富山県農林振興センターは14日、「主要地方道高岡環状線道路改築橋梁下部工(P214)工事」の2件を条件付き一般競争入札(総合評価方式簡易型Bタイプ、施工体制確認型)で開札した。

工事場所は高岡市一塚地内、工期は2件とも平成31年3月28日までとなっている。

神左浄化センター電気設備修繕

富山県高岡土木は14日、「神通川下水道線単独浄化センター

高岡土木

入善町 愛本新 35年

入善町は、「防災減災事業愛本地区」の事業採成31年度の重点規で盛り込み、開業となる。延長800mで暗渠化するも期間は平成35年5年間で、事業5000万円を要する。

愛本新用水地に位置し、受益68ha、町に有利な腹斜面崩落によ

1年、2年生の低学年を対象として（希望する3年生含む）、県内企業と学生が直接対話できる企業研究会の実施（県内企業を知ってもらう入口対策）

- 新年2月9日（土）午後13時～15時半（予定）
- 1年、2年（希望する3年含む）120名程度と県内企業との個別企業研究会
- 建設、斜面・地質、測量設計から25社程度、環境・衛生系から5社程度募集したい。なお、OBのいる企業を優先。
- 学生を4人程度のグループに分けランダムに5社と直接面談するシステム
- 30分程度の業界紹介後、1グループ20分×5社で2時間程度。スタンプラリー方式。
- 合同企業説明会の企業ブースのイメージ
- 大講義室、教職員コモン、L201、L202、L203、L204、L205教室を予約済み

平成30年度 建設界の担い手確保・
育成に関する取り組み

②平成30年度の活動事例紹介
【石川県部会】

平成31年 1月29日
北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会

建設の仕事(公務員・測量・コンサル・建設)すべて見せます

～ 産学官連携による金沢大学における説明会 [先輩が紹介] ～

日時 : 平成30年12月10日(月) 13:00～14:30

場所 : 金沢大学 角間キャンパス 自然科学教室

受講生: 約70名

参加機関: 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 講演: 笹原 有紀 様

(一社)石川県測量設計業協会

仙臺 幸宏 様

(一社)建設コンサルタンツ協会

白井 淳子 様

(一社)石川県建設業協会

沢田 博人 様

辻 知己 様、田中みのり 様

講演テーマ: 建設事業との関わりとキャリアパス等の紹介 [各15分]



[学生からの質問]

Q:それぞれ皆さんが就職先を決定した時の決め手は如何に？

Q:仕事に就いて失敗したことはあるか、どのように対処したのか？

学生の皆さんから、熱心に聴講いただきました。

平成30年9月18日(火)、(一社)日本建設業連合会北陸支部は、金沢大学から23名、金沢工業大学から18名の参加を頂き、①石川県の金沢港「金沢港(南地区)岸壁(-7.5m)(改良)築造工事(その3)工事」(北陸地整)、②富山県国道41号線「片掛橋下部その2工事」(北陸地整)の現場見学会を開催しました。

今回の見学会は、**日建連による「担い手の確保・育成」活動の一環として、建設現場のやりがい・魅力の発信**、実際の作業環境を肌で感じ、**現場職員との会話を通じての建設現場で働くイメージの形成**を目的として開催しました。

港湾岸壁工事では巨大な作業台船による地盤改良工事と金沢港の岸壁が出来ていく様子を目の当たりにし、**大規模工事のスケール感を体感でき、「普段見れない段階の工事状況を見て理解が深まった」**などの声がありました。

橋梁下部工工事では、これから始まるニューマチックケーソン工事の施工計画の説明を受けた後、河川区域に張り出した作業構台の上で工事進捗を確認し、現場職員への質問タイムの時間を設けたところ、参加学生からは、工法についての質問や、**普段の仕事についての質問を出していただき、活発なやり取りとなりました**。ケーソンを沈設するところも見たいとの声もあり、**現場は日々変わりゆくもの**だということをしっかりと伝えることができ、**担い手確保に向けての良いPRの場**となりました。

現場見学会

①「金沢港(南地区)岸壁(-7.5m)(改良)築造工事(その3)工事」(北陸地整)

②富山県「片掛橋下部その2工事」(北陸地整)



工業系高校・大学・専門学生との現場見学会

(一社)石川県建設業協会

6月22日(金)	金沢市立工業高等学校	土木科	1年生	42名	能越道・金沢外環状道路
6月22日(金)	金沢市立工業高等学校	建築科	3年生	42名	金沢生コンクリート棟・金沢市文化ホール他
7月 6日(金)	石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科 建築コース	3年生	20名	金沢市城北市民運動公園・県央土木事務所
7月 6日(金)	石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科 土木コース	3年生	13名	金沢外環状道路・湯の国橋
7月10日(火)	石川県立小松工業高等学校	建設科	1年生	44名	県央土木事務所・金沢外環状道路
7月17日(火)	石川県立翠星高等学校	総合グリーン科学科	3年生	20名	金沢外環状道路・県営ほ場整備野田地区
7月13日(金)	金沢工業大学	環境土木工学科	1年生～	21名	能越道

参加計 5校7学科 参加者数計 202名(赤字は主な見学先)



石川県立羽咋工業高等学校 建設造形科 土木コース



金沢工業大学 環境土木工学科



金沢市立工業高等学校 建築科

○現場見学会での生徒の感想

- ・現場見学会を通して土木の仕事に興味を持つことができました。
- ・女性でも働きやすい環境づくりが進んでいることを知りました。
- ・道路の重要性を改めて感じました。
- ・現場では多くの人達がそれぞれの役割を果たしていることがわかりました。

工業系高校との意見交換会

(一社)石川県建設業協会

平成30年11月16日	金沢市立工業高等学校	建築科	2年	40名	
平成30年12月 7日	石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科	1年	26名	
平成30年12月 7日	石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科	2年	30名	
平成30年12月13日	金沢市立工業高等学校	土木科	2年	40名(予定)	
平成30年12月19日	石川県立小松工業高等学校	建設科	2年	40名(予定)	
平成31年3月(予定)	石川県立翠星高等学校	環境科学コース	2年	20名(予定)	

参加生徒計 約200名



意見交換会について

○工業高校との意見交換会は主に、前半は若手職員(同校OB等)が自身の1日・体験等をプレゼンまたは、ICTなどの最新技術の紹介・説明を 生徒に聞いてもらい、後半は協会会員企業所属の若手職員を中心としたグループ形式にて実施している。

○比較的年齢の近い、なおかつ同校のOBの職員との意見交換になると生徒も質問し易く、かつ生徒が自身の近い将来の姿を想像できるようになり、貴重な体験となっている。

【建コン協北陸支部の技術部会活動】

金沢大学で建設コンサルタントの仕事について説明しました！

日 時：平成30年5月15日（日）10：30～12:00

開催場所：金沢大学

説 明 者：（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部
技術部会

トンネル委員会 委員長 今度 充之

トンネル委員会 委 員 麻田 正弘

金沢大学1年生約90名を対象に初学者ゼミの一環として、建設コンサルタントの仕事について説明を行いました。

パワーポイントで説明した後、説明者が今まで係わった業務の体験談を紹介しました。

そして最後に、動画「教えて！ケンコンさん ～建設コンサルタントの仕事と魅力～」を紹介しました。

4月に入学したばかりの学生たちは、メモを取りながらとても熱心に聞いてくれました。後日頂いた感想文では、インフラの重要性、建設コンサルタントの仕事とやりがいについて分かってもらった印象を受けました。

多くの学生が建設コンサルタントを目指して学業に励んでくれることを期待しています。



【建コン協北陸支部の技術部会活動】

石川工業高等専門学校にて、建設コンサルタントの仕事について説明会を実施しました。

日時：平成30年6月20日(水)14:40～15:45

開催場所：石川工業高等専門学校

説明者：(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部 技術部会

道路委員会 委員 藤本勇一

道路委員会 委員 木下裕康

石川工業高等専門学校 環境都市工学科、専攻科の学生44名を対象に、建設コンサルタントの説明を行いました。

動画「教えて！建コンさん～建設コンサルタントの仕事と魅力～」視聴のほか、建設コンサルタントの仕事イメージしてもらえよう説明者の経験談、業務事例などを説明しました。

当日参加された学生のアンケートでは、「企画、計画、設計、施工管理の全ての段階に係わっていたので、建設コンサルタントの中でも色々な役割があって、自分の興味ある仕事も見つかりそうな気がした。」「技術者として、長年働けば働くほど技術が身につくとしり、頑張りがいがあると感じた。」等の回答があり、役割や仕事について理解頂きました。

動画についても「重要なことがわかりやすくコンパクトにまとめられて、建設コンサルタントについて大まかに理解できた。」等好評を得ており、みなさんホームページのトップページからご覧下さい。



平成30年7月24日(火)、高校生ものづくりコンテスト石川大会競技後の時間を利用して、参加した県内の工業系高等学校の生徒15名を対象に意見交換会を実施しました。意見交換会は、当協会の次世代研修委員が参加し、パワーポイントを使用して最新測量技術の紹介や昨年度実施した高校生への測量業に関するアンケート結果報告のほか、実際の測量作業や各企業の待遇、福利厚生等を説明しました。高校生からは、「**危険な場所での作業なのですか？**」、「**機械操作や計算などが難しいのでは？**」など、**測量業に就く際の実際に感じる不安などについての質問**がありました。対面での意見交換後に生徒の中に入り、雑談形式で話をする事ができ、高校生の不安の解消と測量業をより詳しく知ってもらえることができたのではないかと思います。

最新測量技術紹介、アンケート結果



最新測量技術の紹介状況

○仕事内容や最新技術の紹介

- 測量や設計の実作業の紹介
- 災害復旧業務の紹介
- GNSS測量について
- 無人航空機(UAV)を用いた測量について
- 地上レーザースキャナーを用いた測量について



意見交換会



意見交換会の状況



意見交換会の状況

○意見交換会での主な発言

- 計算が多そうだけど、どれくらいの頻度で計算しますか？
- 難しそうなので、就職するとなったら不安です。
- 給料の額、経営の安定、土日の休みなどは？
- 労働時間はどれくらいですか？
- 女性でもできる測量の仕事はありますか？
- 土木系でも女性の就職先はありますか？

意見交換会では、様々な質問に対して参加したメンバーが実体験やそれぞれの企業での実情等も踏まえ、丁寧に回答しました。また、インターンシップや現場見学会等への参加も促進し、今後、ますます測量設計業に興味を持ってもらえるよう理解を深めてもらえることができました。



高校生インフラツーリズム

～ふるさといしかわの公共工事を学ぶ旅～

加賀コース

2018.8.10 (Fri) 開催

参加無料

定員 先着40名

申込締切 7.27(Fri)



金沢港



清水谷バイパス



測量体験

現場には、普段見ることのできない風景が広がっている。

石川県土木部

Ishikawa

Public works Department

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

Phone:076-225-1712 / Fax:076-225-1714

80

高校生インフラツーリズム<加賀コース>

開催日時

2018年8月10日(金)13:45~16:35

対象

県内の高校に通う高校1~3年生(定員 先着40名)
※建設業(土木/建築)、測量設計、建設現場に興味のある方はぜひご参加ください

コース概要

- | | |
|--------------------------|--|
| ① 『公共工事』を知る!
& 測量機器体験 | 公共工事の計画~完成までのプロセスを紹介するとともに、
石川県測量設計業協会の協力のもと最新の測量機器を体験 |
| ② 金沢港機能強化 | クルーズ船と貨物の増加に対応した機能強化整備を進め、
大きく変貌をとげる金沢港を見学
(大型コンテナ上屋建築など) |
| ③ 一般国道304号
(清水谷バイパス) | 道幅が狭く、急カーブ・急勾配のある道路のバイパス整備を
見学するとともに、自動制御で設計通りに動くICT建設機械
をご紹介します |

集合時刻

	集合時刻	解散時刻
小松駅	12:15	18:05
金沢駅	13:20	17:05

※大型バスを手配します。

持ち物

水筒、長靴、雨具、昼食※小松駅集合の方

解散時刻

服装

動きやすい靴・服装(長袖、長ズボン)

申込締切

7月27日(金)

必着

定員 先着40名

※参加無料(別途、県負担により傷害保険に加入します。)
※参加決定のお知らせは参加券の発送をもって代えさせていただきます。

【お申込み方法】

①Web(右のQRコードより申込みフォームにアクセスできます。)

石川県電子申請システム — 高校生インフラツーリズム<8/10(金)加賀コース> 参加申込
<https://s-kantan.com/pref-ishikawa-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=114>



②郵送 または FAX(参加申込書にご記入の上、下記お申込み先までお送りください。)

※電話でのお申し込みは承っておりません。
※申込みの際に収集した個人情報は本行事開催のためだけに利用し、その他の目的では利用しません。

【お申込み・お問い合わせ先】

石川県 土木部 監理課 建設業振興グループ(〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地)
Phone:076-225-1712 / Fax:076-225-1714

『高校生インフラツーリズム<加賀コース>』参加申込書

参加者の氏名	(フリガナ) (Oをつけてください) 男・女	学校名・学年 年生
参加者の電話番号	生年月日 年 月 日 満()歳
参加者の住所	〒.....		
集合場所 (Oをつけてください)	小松駅(12:15集合) / 金沢駅(13:20集合)		
※お申込みには保護者の同意が必要です。保護者の署名・捺印を添えてお申込みください。			
保護者の氏名	(印)	保護者の電話番号
保護者のメールアドレス		



高校生インフラツーリズム

～ふるさといしかわの公共工事を学ぶ旅～

能登コース

2018.8.7 (Tue) 開催

参加無料

定員 先着40名

申込締切 7.27(Fri)

輪島道路 (小泉高架橋)



笹尾砂防工事



のと里山海道
4車線化



千里浜なぎさ
ドライブウェイ



測量体験

現場には、**普段見ることのできない風景**が広がっている。

石川県土木部

Ishikawa

Public works Department

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

Phone:076-225-1712 / Fax:076-225-1714

地質を調査する仕事があるということ、一般の方々にも知って頂くために開催しました。そのため、まずは「石」にもいろいろな種類があることを知ってもらい、「石」に興味を持ってもらうことで、将来的には地学を勉強し**地質調査に関わる担い手を確保**しようと、平成30年10月20日(土)「白山手取川ジオパーク推進協議会」の共催、「金沢市教育委員会・北國新聞社・テレビ金沢」の後援、「金沢大学理工学域地球社会基盤学類地球惑星科学コース・石川県自然史センター・北陸地盤工学研究会」の協力を得て石の標本づくりを開催しました。

参加した子供達39名にアンケートを実施した結果、38名が「楽しかった」(97%)との回答があり、自由意見では「石を知ることができて良かった」、「いろいろな石を見つけられて楽しかった」、「転がっている石にも名前があることが分かってワクワクした」など、**興味をもってもらえた**のではないかと思います。

これからも継続して開催し、今後は能登地区でも開催できるよう検討していきます。



開催場所(手取川河川敷)



黄色Tシャツはスタッフ



ハンマーでの石割り体験



標本づくり状況



教授に質問



大理石に塩酸を



将来の担い手確保の支援

労働環境の改善

- ①学生(大学・高専・短大)向け
 - インターンシップフェスへの建設業者参加呼びかけ
 - ②高校生向け
 - 企業ガイダンスへの建設業者参加呼びかけ
 - 高校訪問による入職呼びかけ
 - 高校生現場見学会の開催
 - 他業種とのコラボ企画(パネルディスカッション)
 - ③小・中学生、一般向け(PR)
 - 「はだしの王国」でのブース出展
 - 各土木事務所でのPR
-
- いしかわ土日おやすみモデル工事の導入
 - 快適トイレの導入
 - ICT建設機械の活用推進

将来の担い手確保の支援

新規高卒者の建設業就業者数

卒業年(3月)	H28.3	H29.3	H30.3
就職年度(4月1日)	H28.4	H29.4	H30.4
A 卒業者数(全体)	10,203	10,550	10,357
A1 進学その他 (A1 / A)	7,951 77.9%	8,205 77.8%	8,157 78.8%
A2 就業者数(全体) (A2 / A)	2,252 22.1%	2,345 22.2%	2,200 21.2%
B 就業者数(建設業)	265	276	276
卒業者全体に占める割合(B / A)	2.6%	2.6%	2.7%
就業者全体に占める割合(B / A2)	11.8%	11.8%	12.5%
C 建設系卒業者 建設業就業者全体に占める割合(C / B)	74 27.9%	86 31.2%	84 30.4%
D 非建設系卒業者 建設業就業者全体に占める割合(D / B)	191 72.1%	190 68.8%	192 69.6%

約3分の2が非建設系高校(普通科高校等)の卒業者

建設業への就業者を増やすため、普通科高校への働きかけも重要

いしかわインターシップフェス

大学・高専・
短大学生向け

主に夏期休暇中に実施される

インターンシップに関する情報を企業から学生に直接説明



H30. 5. 12 産業展示館で開催
約230社参加(建設業20社)
学生約1,600名参加

高校生を対象とした企業ガイダンス

高校生向け

H30. 7. 7開催



- 建設業者：42社／246社（うち県建設業協会会員企業14社）
- H31. 3月卒業予定の高校生約1,900名が来場（就職希望者の約8割強）
- 建設業者ブースには延べ約260名が参加

高校訪問による入職呼びかけ

高校生向け

今年度は、**県内全55校**を対象に**高校訪問**を実施

将来の進路を見据え、**普通科高校**においても**建設業の魅力**を伝える場として、**職業講話・意見交換会の開催**を働きかけ

職業講話・意見交換会を開催 ※ H30.11月末現在
金沢二水高(6/20)／星稜高(6/25)／七尾高(7/31)／金沢伏見高(9/18)
金沢桜丘高(11/16)



七尾高校



金沢伏見高校



金沢桜丘高校

高校生向けの現場見学会

高校生向け



高校生インフラツーリズム

- | | |
|--|--|
| <p>《能登コース》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.8.7開催 ・29名参加 ・千里浜再生プロジェクト、のと里山海道、輪島道路 など | <p>《加賀コース》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.8.10開催 ・10名参加 ・金沢港、一般国道304号（清水谷バイパス）など |
|--|--|

高校独自で見学会を実施

金沢伏見高校



H30.9.25
11名参加

寺井高校



H30.9.27
4クラス
175名参加

パネルディスカッション【他業種とのコラボ企画】

高校生向け



他の業種とのコラボにより
建設業が持つ魅力を
効果的に高校生に伝える

<金沢北陵高校>

- ・H30. 11. 14
- ・2年生188名参加

<金沢商業高校>

- ・H30. 12. 7
- ・2年生280名参加



～生徒の声～

- ・建設業のイメージが変わった。
- ・建設業への興味が少し深まった。

「はだしの王国」イベントブース出展（4回目）

親子向け

親子向け土木ブース

「目指せ！土木・建築エンジニア」を開設

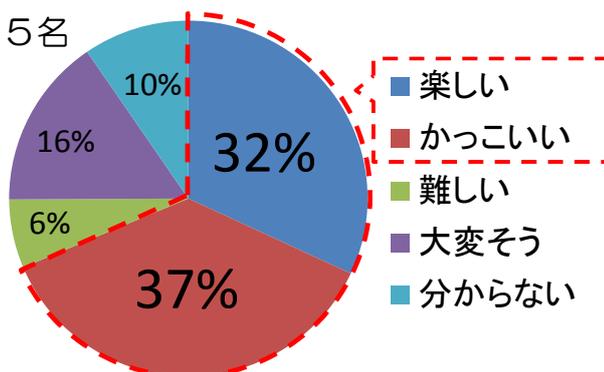
H30. 10. 8 奥卯辰山健民公園で開催
測量・重機操縦体験、クイズラリー 等
児童・保護者約650名参加

アンケート結果

Q. 「土木・建築」についてどう思うか

結果：約7割が好意的な回答

【子供】335名





重機でボールすくい



土木・建築クイズ



土木実験



ラジコン除雪体験



重機搭乗体験

労働環境の改善

建設業では担い手不足が大きな課題であり、若者に「働く魅力が感じられる職場づくり」が重要
確実な休日の取得など労働環境の改善が必要

〈これまでの取組〉

H27年度から「**いしかわ土日おやすみモデル工事**」を実施

H27：14件、H28：34件、H29：42件 工種・規模を順次拡大

◆H29休日取得率 **100%**（代休含む） **9割超** が良いと回答

〈H30主な取組〉

① 取組機会の拡大

- ・発注者指定型工事の拡大 100件程度 ※6千万円以上は原則実施(適用困難工事除く)
- ・新たに**施工者希望型工事**を導入 40件程度
- ・受注者から希望があり週休二日の確保が可能な工事

② 適正な工期設定

- ・週休2日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇を確保した工期を設定

③ 工事成績での加点

- ・週休2日を達成した場合は、**工事成績評定で加点**

④ 費用の増額

- ・共通仮設費・現場管理費の割増に加え、**新たに労務費・機械経費を割増**

若者や女性など多様な人材の入職を促進するには、
建設現場を男女ともに働きやすい環境とすることが必要

H29. 7月から男女共に快適に使用できる仮設トイレ

「快適トイレ」を導入

これまでの実績

設置件数 43件

(H29年度実績)

快適トイレのイメージ



快適トイレの主な仕様

- 洋式便座
- 水洗式
- ニオイ逆流防止装置
- 施錠機能
- 照明器具
- 衣類掛けフック 等

対象工事： • 3千万円以上の工事は原則実施
• 3千万円未満の工事は受注者からの希望により実施

[金沢河川国道事務所] 小松工業高校 現場見学会

実施 : 平成30年7月10日

対象 : 小松工業高等学校 建設科2年生 37名

【海岸保全事業】

H29小松人工リーフブロック製作その2工事

◇重点説明項目【テーマ: コンクリートの施工管理】

- ・コンクリートの規格
- ・コンクリートの運搬～打設～養生 の留意点
- ・コンクリートの品質管理
受け入れ時の確認
強度確認 など

◇現場技術職員の業務紹介(今年度、小松工業高校を卒業した先輩から)

- ・現在携わっている仕事の内容
- ・実際に仕事をしてみて感じていること など



【道路改築事業】

H29・30加賀拡幅 湯の国橋上部工事

◇重点説明項目【テーマ: 鋼橋の施工、コンクリートの施工管理】

- ・鋼橋、コンクリート橋の特徴
- ・床板(鉄筋)コンクリートの規格と施工上の留意点 ※ブロック(無筋)との違い

◇現場技術職員の業務紹介(富山県出身の若手技術者から)

- ・現在携わっている仕事の内容
- ・実際に仕事をしてみて感じていること など



[金沢河川国道事務所] 地元の児童・生徒がICT建設機械を体験

「輪島市立鵜巣(こうのす)小学校 現場見学会」

日 時:平成30年6月21日(木)

場 所:輪島市三井町長沢地先

工事名:H29能越道本江地区道路改良外その2工事

参加者:輪島市立鵜巣小学校(5, 6年生)12名、先生2名

概 要:工事説明/ICT建設機械の試乗体験 など

見学会の最後に「何が大変ですか?」「なぜこの仕事を選んだのですか?」などの素朴な質問をたくさんいただきました。



「輪島市立門前中学校 現場見学会」

日 時:平成30年10月2日(火)

場 所:輪島市三井町長沢地先

工事名:H29能越道 本江地区道路改良外その2工事

H29能越道 山ノ上地区道路改良外工事

参加者:輪島市立門前中学校(2年生)15名、先生3名

概 要:工事説明/ICT建設機械の試乗体験 など

建設機械の操作は、難しいと思ったけど、意外と簡単でイメージが変わりました。



[金沢河川国道事務所] インターンシップに来所

～ 2名の学生が国土交通省の業務・役割を体感 ～

期間 : 平成30年7月30日～8月10日

実習生: 金沢工業大学1名、石川高等専門学校1名 計2名

テーマ: 金沢河川国道事務所が所管する治水事業・道路事業について、調査・計画・施工・維持管理を体験し、仕事として携わるイメージを認識してもらう。



はじめは緊張感 MaX



河川水質調査



施工管理



手取川ダム 湖面巡視



砂防法面工事現場
立ち会い



様々なことを体験した
2週間



手取川ダム 一般見学者対応

職員のための情報交換紙

ほくりくフレッシュニュース

この情報の閲覧数 482

Vol.1056 2018/11/29 北陸地方整備局 企画部 企画課

【能越自動車道 輪島道路】 若手の私が、初めて輪島道路を説明しました。	発信元
	金沢河川国道事務所【M761-6874】 輪島国道出張所 岩間 亮友

みなさんこんにちは。輪島国道出張所の岩間と申します。今年入省3年目の若手職員です。
私が4月に輪島国道出張所に赴任してから8ヶ月が経過しました。昨年までは長野県の大町ダムで北アルプスを眺めながらダム管理に従事していましたが、4月から一転して日本海を眺める生活になりました。
輪島国道の現場は規模が大きく、橋梁やボックスカルバート、ICT土工など様々な工事があるため、毎日大変勉強になります。輪島国道の現場見学は他の若手職員にとっても非常に良い勉強になると考え、金沢河川国道事務所の若手職員に加え事務系、河川系の職員もお誘いしたところ、お忙しい中12名の方にご参加いただきました。
当日は、出張所長からの指令で私が案内役に…。人前に立つのは苦手なので、案の定ごちやうど進行になってしまいました。次こそは上手くできるよう、更に勉強してリベンジしたいと思います！
というわけで、**来年も開催する予定**なので皆様のご参加お待ちしております。

見学会でっばんの現場を当日の様子と共にご紹介

ICT土工(長沢工区)

長沢工区は掘削工約95,000m³の工事と路体盛土工約55,000m³の工事が隣接する現場です。
ICT建設機械の試乗体験や実際にドローンを飛ばしての空撮などは皆さん興味津々です。



現場空撮 H30.8.3撮影



MCIバックホウです。ハゲがっって意外に盛り心地が良いですね。



岩間が輪島道路の概要を説明しました。輪島道路の説明は初めてですが、分かりやすい説明って難しいですね。次からは上手くできるように頑張ります！

人に伝える 楽しさ
人に伝わる 嬉しさ を感じてほしいです。
輪島国道出張所長より

小泉高架橋

小泉高架橋は桁長L=220mの4径間のプレストレスコンクリート構造の高架橋です。【片持張出し架設】という工法で施工しています。輪島市街地へ向かう主要道路の上空に架かる橋なので、地元の方から**注目の的**です。

当日はここを見学しました！階段の昇降がしんどいです…



施工中の構橋を見学。地上約30mだと空気が違う気がします！



通常より20cm高い！

足場の天井が高くてしゃがまなくていいです。

☆☆ ほくりくフレッシュニュース の発行について ☆☆

企画課までいろいろな情報を配信してください。

問 合 せ:企画課長(マイクロ:84-3151)、企画課長補佐(マイクロ:84-3152)
担 当:建設専門官(マイクロ:84-3158)、広域計画課 計画調整係長(マイクロ:84-3221)

[↑このページのトップへ↑](#)

各課・各出張所からの情報をお待ちしています。
【記事の詳細については、発信元に問い合わせ下さい。】

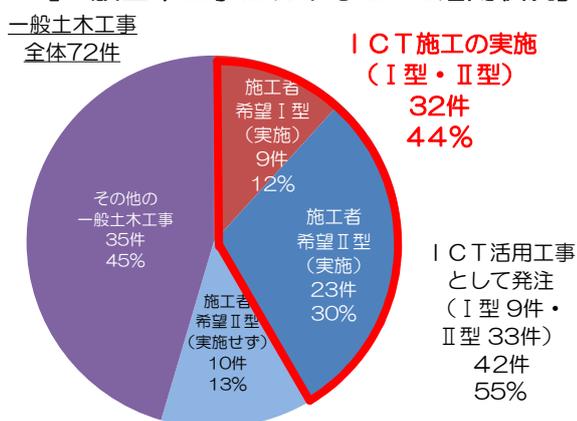
金沢河川国道事務所におけるICTの活用状況（H29・30年度発注分）

- 一般土木工事のうち4割を超える工事がICT施工となっている。
- 一般土木工事の受注者のうち8割の業者がICT施工を実施している。

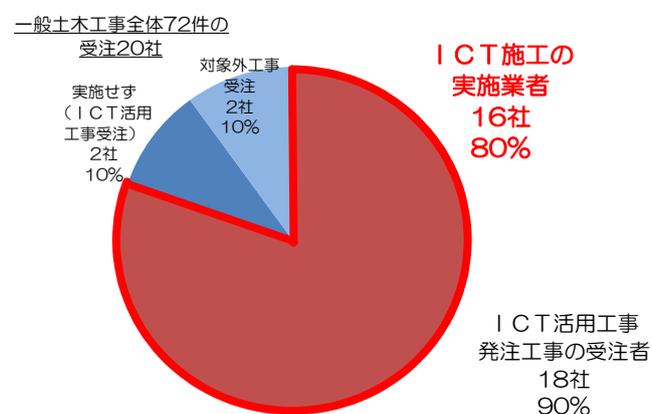
〈概要〉

- ① H29・30年度発注の一般土木工事72件のうち、ICT施工の実施工事は32件(44%)となっている。(H30.10末まで実績)
- ② 一般土木工事のうちICT活用工事として発注した工事は42件、うち施工者希望Ⅰ型(※1)は9件、施工者希望Ⅱ型(※2)は33件であった。発注後、施工者希望Ⅰ型は全て実施、施工者希望Ⅱ型については23件が実施、10件は実施せずであった。
- ③ 受注業者からみると、一般土木工事72件を受注した業者は20社あり、うち16社(80%)がICT施工に取り組んでいる。

【一般土木工事におけるICTの活用状況】



【一般土木工事受注者のうちのICT施工実施業者の割合】



※1 施工者希望Ⅰ型: 必ずICT活用することを前提として、入札時に活用計画書を提出し、総合評価項目として評価を行う。契約後、ICT活用・施工するもの。

※2 施工者希望Ⅱ型: 契約後、受注者が発注者への提案・協議を行ってICT活用施工を実施するもの。

【事例】ICT活用工事の施工及び現場見学会の実施状況(H29・30梯川金屋高水護岸工事)

○小松工業高校現場見学会の様子(5月18日実施)



ICT重機の操作体験



現場見学会及び施工箇所